

留学ハンドブック 2017

Handbook for Study Abroad 2017



2017年4月1日発行

編集・発行 上智大学グローバル教育センター（2号館 1階）

Sophia University Center for Global Discovery (1st fl, Bldg. No. 2)

窓口時間 月～金 9:30-11:30, 12:30-17:00

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

Tel 03-3238-3521

Fax 03-3238-3554

<http://www.sophia.ac.jp/>

@Sophia_GoGlobal

留学ガイダンス

各回とも同内容（日本語）

- ① 4月10日（月）
- ② 4月12日（水）
- ③ 4月14日（金）
- ④ 10月2日（月）

時間／12:40～13:20

場所／6-101

※4月10日のみ10号館講堂

Study Abroad Guidance in English

October 3 (Tue)

Time／12:40～13:20

Venue／Center for

Global Discovery

留学フェア

Study Abroad Fair

6月15日（木）・16日（金）

June 15 (Thu)・16 (Fri)

時間 Time／12:15～15:30（予定・Tentative）

場所 Venue／2号館17F

17th fl, Bldg. No.2

TOEFL 説明会

各回とも同内容

- ① 4月24日（月）
- ② 6月1日（木）
- ③ 10月13日（金）

時間／12:40～13:20

場所／2-508

TOEFL ITP® 実施日

申込み：上智大学内 紀伊国屋書店

- ① 4月8日（土）
- ② 9月13日（水）

時間／9:30集合（予定）

場所／4月8日：6号館、9月13日：11号館（予定）

STUDY ABROAD

Handbook for Study Abroad 2017



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック 2017

上智大学 グローバル教育センター

学生留学委員会委員長からのメッセージ

A message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee



学生留学委員会委員長

杉村 美紀 教授

(グローバル化推進担当副学長／総合人間科学部教授
Vice President for Global Academic Affairs/
Professor, Faculty of Human Sciences)

最近、日本でよく耳にする言葉に「グローバル人材」という用語があります。国際化やグローバル化が進むなかで、「グローバル人材」の活躍は必要不可欠であるということがよくいわれますが、ふと日本以外の海外に目を向けた時、同じように「グローバル人材」ということがどこの国や地域でも叫ばれているかという、実はそうではないように思います。たとえば、「グローバル人材」のひとつの指標とされる「母語以外の言語によるコミュニケーションスキル」ですが、日本にいる限り、日本語の他にもう一つ何か外国語ができることで十分評価されますし、さらにもう一つの言語ができればさらに評価が高まります。しかしながら、ひとたび海外に出て、多言語社会で暮らす人々と出会うと、日本での価値判断がいかに狭いものであるかを感じさせられます。上智大学の協定校のひとつであるルクセンブルク大学に行った時のことですが、大学の国際交流担当の方は右を向いてドイツ語を話し、左からフランス語で話しかけられれば今度はフランス語で答え、私に対しては英語で話してくれました。それだけで驚いている私に対し、「これ以外にも地元ルクセンブルク語もわかりますが、自分はスウェーデンの出身で母語はスウェーデン語です」と答えてくれて、「ここでは最低三言語、四

言語を話すのは当たり前で、もっと話す人も大勢いますよ。」と何食わぬ顔で言われました。国境を越えて人々が自由に移動する今日、言語だけではなく仕事のうえでも、日本で一般的に考えられているような、様々な国や地域を舞台に活躍する「グローバル人材」という人材像は、決して特別なものではありません。

今、この「留学ハンドブック」を手にとって読んでくださっている皆さんが、上智大学で学ばれ、社会に出て活躍される時には、今以上にこうした幅広い活躍の可能性と期待がより一層ひろがっていることでしょう。同時に、皆さんがこれから近い将来、一緒に仕事をする世界の良きライバルたちは、あえて「グローバル人材」とは言わなくとも、日常生活のなかですでに十分、言語を含む様々な文化や風習、考え方の違いを身に付けている人たちです。そうした人々は、自分の国か他の国かといった考え方以外に、たとえ自分の国の仲間同士であっても、異文化をもつコミュニティの仲間に対してその多様性を理解し、受け入れる素地も備えています。

「留学」はまさにそうしたことを実際に自分の肌で学び、感じ取るのに絶好の機会です。その時にはすぐに大事だとは思わないようなことでも、将来、留学での思い出や経験、出会った人々のあり方が自分を支え、人間的な成長につながったということを感じた時、言語や学習面での成果だけでなく、現地で人々と苦楽を共にしながら生活する「留学」の意義を強く感じられることと思います。

上智大学の留学プログラムは、そうした皆さんの「留学への思い」をバックアップするための教育ネットワークです。今では毎年300名以上の学生が世界各地の協定校(2017年3月現在47カ国254校)に1年間または1学期(半年)の留学をし、海外からも毎年400名以上の外国人留学生在が交換留学生として来日します。また、協定校以外にも、「一般留学」「休学留学」のかたちで留学する例や、通常の交換留学のほかに、目的によって「英語集中コース」、「ドクターコース」、中南米諸国の大学との交換プログラムLAPなども展開しています。こうした上智のプログラムは、これまで多くの先輩たちによって築かれてきたものです。2013年に創立100周年を迎えた上智大学の教育理念である「叡智が世界をつなぐ(Sophia—Bringing the World Together)」に示されるとおり、上智大学の大きな特徴は、そもそもグローバル化や国際化が叫ばれる以前から創り上げられてきた世界的な教育ネットワークにあります。皆さんが、上智大学の特色ある留学プログラムを利用して学びの場を世界へと広げられ、ソフィアンとしての活躍の一步を踏み出されることを心から願っています。



数字で見る上智大学の留学

交換留学派遣者数：345名（2016年度）※英語集中コース、LAP等のプログラム含む
 上智大学の交換留学派遣者数は増加傾向にあります。本学は「スーパーグローバル大学等育成事業」に採択されており、今後更なる派遣者数増加、留学プログラムの多様化が見込まれます。



一般留学者数：44名（2016年度）



休学留学者数：286名（2016年度）



海外短期語学講座参加者数：373名（2016年度）



海外短期研修参加者数：91名（2016年度）



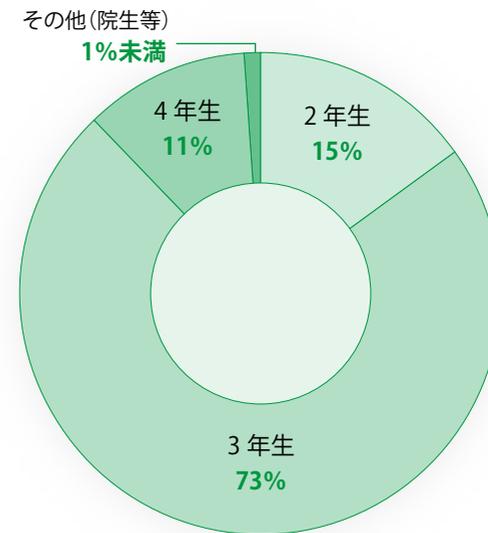
実践型プログラム：110名（2016年度）



※上記留学プログラムの他、ドイツ語学科在外履修制度や海外インターンシッププログラムにより海外で学ぶ学生も増加しています。

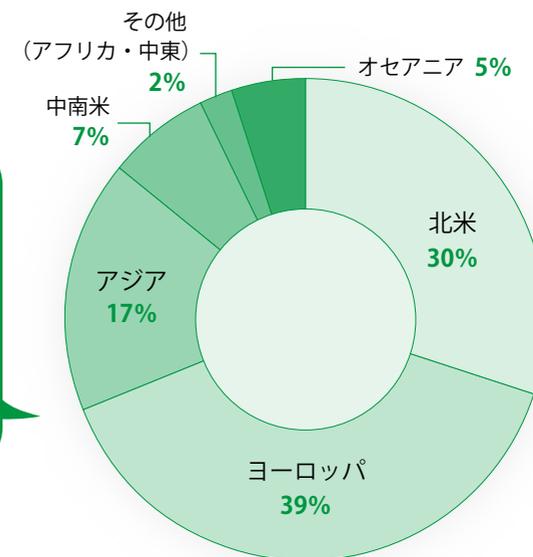
留学年次（2016年度）

出願準備に十分な時間がとれること、出願できる大学が増えること、勉強したい分野が明確になることなどから3年生で留学される方が多いです。



留学地域（2016年度）

交換留学協定校は **47カ国 254校*** において、世界中に上智大学の学生が留学しています。
 *2017年3月1日現在



HOT TOPICS

グローバル教育センターは
様々な海外体験の場を提供しています。

グローバル教育センター(Center for Global Discovery)は、上智大学のグローバル教育の根幹として、学生のみなさんの海外留学・海外インターンシップ等に関する支援を行っています。

オフィスは2号館1階と地下1階に分かれていますが、留学に関する相談は1階の窓口にお越しください。

- 〈1階〉 交換留学(派遣・受入)
海外短期プログラム(語学講座・短期研修・実践型プログラム)
留学カウンセリング、協定締結、その他国際連携に関する業務
- 〈地下1階〉 グローバル・コンピテンシー・プログラム(GCP)
インターンシップ科目
その他グローバル教育センター開講科目、
Sophia Short-term Programs (Summer Session等)

留学カウンセリング制度 ~留学のお悩み相談~

留学に関するありとあらゆる悩みに、専門の留学カウンセラーがお答えしています。特に、一般留学や休学留学を考えている方に人気です。

留学に興味はあるけれど何から手をつけて良いか分からない、留学への不安や質問がある等、短期・長期留学問わず、留学に関することならどんなことでも相談できます!

大変好評で多くの方が利用されていますので、早めの予約をお勧めします。予約・問い合わせは以下のメールアドレスまたはグローバル教育センター(2号館1階)まで。
goabroad-ofc@sophia.ac.jp

〈カウンセリング時間枠〉

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ① 10:30 - 11:00 (30分) | ④ 14:30 - 15:00 (30分) |
| ② 12:40 - 13:20 (40分) *グループ相談可 | ⑤ 15:15 - 15:45 (30分) |
| ③ 13:45 - 14:15 (30分) | ⑥ 16:00 - 16:30 (30分) |

※予約優先ですが、空きがあれば随時対応します。

※上記時間枠は2017年3月時点のもので変更となる場合があります。

最新の情報は、グローバル教育センター窓口またはホームページでご確認ください。

中南米への留学のチャンスが拡がりました

「Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP) について」

概要

文部科学省の平成27年度「大学の世界展開力強化事業」に、上智大学が南山大学及び上智大学短期大学部と連携して申請した「人の移動と共生における調和と人間の尊厳を追求する課題解決型の教育交流プログラム」が採択されました。これにより、上智大学は2015年から2019年までの5年間に毎年20名~50名の学生を受入・派遣します。上智大学の学生は、このプログラムを通じて、提携大学である中南米諸国6カ国13大学のいずれかで、留学費用の一部援助を受けながら1学期または1年間の長期留学(交換留学)や、短期留学プログラムに参加することができます。

1. LAP連携大学およびプログラムの種類

長期留学(1年または1学期)

- ①メキシコ:4校
- ②コロンビア:2校
- ③ペルー:1校
- ④チリ:1校
- ⑤アルゼンチン:2校
- ⑥ブラジル:3校 計6カ国13大学

学内選考あり、出願は交換留学の要件に準じます。

詳細はP39へ。

短期留学(夏期または春期休暇中実施)

★印の国で実施

- 1) 教皇庁立ハベリアナ大学短期研修(コロンビア):8月実施、約4週間
 - 2) ペルースタディーツアー「往還する南米日系人」(ペルー):2~3月実施、約2週間
- 各プログラムの詳細はP40へ。



2. 体系的な学びの提供

LAP 必須履修科目(上智での学び)

LAPで長期留学する学生は、留学前か留学後にLAP特設科目を最低1科目履修することが必須です。これらの科目はLAPの受入留学生も履修必須ですので、中南米からの留学生や世界中の留学生とともに上智で学べるチャンス!

インターンシップ(企業訪問型)

このプログラムに賛同いただいている企業の会社訪問や工場見学の機会があります。留学先でも現地法人の見学ができる可能性もあります。

(2016年度実施先:メキシコ・メキシコシティ1件、2017年度実施予定先:ブラジル・サンパウロ1件)

3. LAP留学のメリット

- ・上智および中南米を代表する有名大学で現地の学生と交流しながら学べます。一部英語プログラムもあり。
- ・LAPコーディネーターが留学前の準備から現地滞在中の生活まで支援します。
- ・長期留学は往復の渡航費の一部、短期留学は旅行代金の一部を補助します。



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック

2017 *Handbook for Study Abroad 2017*

SOPHIA UNIVERSITY

CONTENTS 目次

Regarding items marked with “*”, there are brief explanations in English from P.57 for students in English-based Undergraduate / Graduate programs.

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

数字で見る上智大学の留学 Study Abroad at Sophia in numbers

HOT TOPICS

Part I	留学全般について	Study Abroad in General
1.	留学を決める前に	Before Deciding to Study Abroad 5
2.	留学を決めたら	Preparation for Study Abroad 6
	A. 情報収集	Collecting Information
	(1) グローバル教育センターについて	Center for Global Discovery 7
	(2) Loyolaダウンロードセンター	Loyola Download Center 7
	(3) 国別留学情報提供機関	Useful Contact Information 7
	(4) その他の留学情報提供機関	Other Contact Information 8
	B. TOEFL®テストについて	Information on TOEFL® 9
3.	留学費用について	Costs of Study Abroad 10
	A. 滞在費について	Living Expenses 10
	B. 海外勉強中の上智大学学費について	Sophia Tuition during Study Abroad 10
	C. 奨学金について	Scholarships 11
4.	留学中の留意点	Things to Remember while Studying Abroad 13
	A. 危機管理	Crisis Management 13
	B. 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について	Compulsory Study Abroad insurance and Safety Management Service 14
	C. メンタルヘルスについて	Mental Health 15
Part II	上智大学の海外勉学制度	Study Abroad Programs at Sophia University
1.	上智大学での留学の種類	Types of Study Abroad Programs Offered at Sophia 17
2.	留学に関する規則(交換留学・一般留学)	Regulations 19
3.	履修登録について	Course Registrations 21
4.	単位換算について	Credit Transfer* 22

Part II	上智大学の海外勉学制度 Study Abroad Programs at Sophia University	
5.	海外短期プログラム(夏期・春期休暇中)について Short-term Programs Offered during Breaks	25
6.	実践型プログラム Social Engagement Programs	29
7.	上智大学国連ユースボランティア Sophia University UN Youth Volunteers	30
8.	大学院生の留学について Exchange Program for Graduate Students	31
9.	海外大学院特別進学制度 Special Admission Program for Overseas Graduate School	32
Part III	交換留学 Sophia Exchange Program	
1.	交換留学出願手続等 Application Procedures for Sophia Exchange Program *	34
A.	募集時期 Application Deadlines and Selections	34
B.	出願および留学資格 Eligibility and Requirements *	34
C.	その他出願の留意点 Notes of Importance *	35
D.	出願に必要な書類 Application Materials *	36
E.	選考方法 Selections *	36
F.	交換留学学内選考試験合格後の手続き Procedures after internal Selection *	36
G.	交換留学時に見込まれる費用 Estimated Costs for Exchange Program	37
2.	目的に合わせた交換留学プログラム Various Exchange Programs	38
A.	交換留学(英語集中コース) Exchange Program (Intensive English Course)	38
B.	Sophia Nanzan Latin America Program (LAP) Sophia Nanzan Latin America Program	39
C.	ACUCA 枠交換留学 ACUCA SMS Program	41
D.	Sophia AIMS (SAIMS) プログラム Sophia AIMS (SAIMS) Program	41
E.	日加枠交換留学 JACAC Student Exchange Program	42
F.	3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学 3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム) Three-Campus East Asian Studies by Sophia University- Sogang University- City University of Hong Kong	42
3.	交換留学協定校一覧 Information on Exchange Partner Institutions	43
	General Information on Study Abroad for students in English-based Undergraduate / Graduate Programs *	57
	2017年度イベントカレンダー Events Calendar 2017	65
	TOEFL® テストスコア対照表 TOEFL® Total Score Comparisons	67



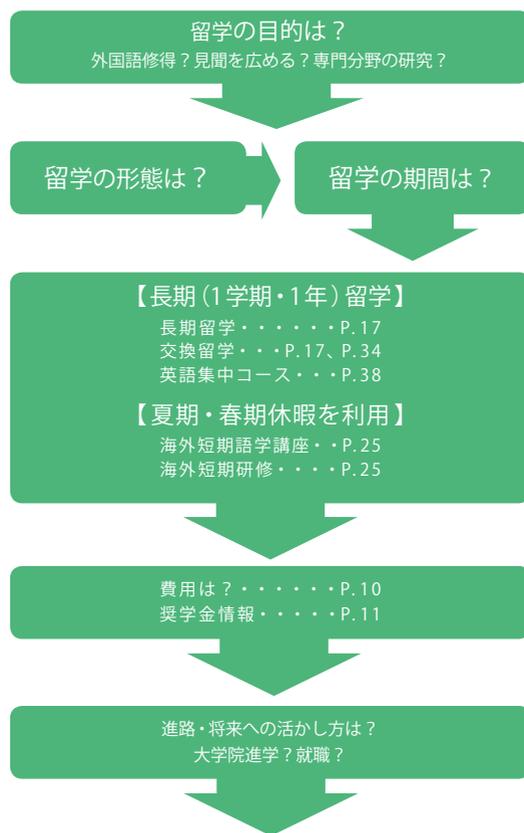
第 I 部 | 留学全般について

part 1. Study Abroad in General



1 留学を決める前に

留学には様々な形態や期間のものがあります。決める前に自分の優先順位を整理してみましょう。



留学の形態や内容により、本学での単位換算の可否や留学期間の修業年限への算入の可否が異なります。(詳細はPartII「上智大学の海外勉学制度」P.17～を参照)また、留学中の授業料や生活費など経済的な準備も欠かせません。留学時期によっては、就職活動と留学期間が重なってしまうケースや卒業時期が延びたりする場合があります。

留学に行くことで想定される様々なケースについて熟考し、海外に行くことを決断する前に、もう一度「いつ、何をどんなふうに勉強したいか」と「留学経験をその後どのように活かしていきたいか」等、自身のキャリアプランを描き、判断してください。

2 留学を決めたら

留学することを決めたら、準備や手続きの確認に入りましょう。海外の学校への出願やビザの取得など、留学手続きには思っている以上に時間と労力がかかります。留学を決意したら、希望留学先への入学時期などを調べ、逆算してスケジュールを立ててください。プログラムの形態にもよりますが、長期で留学する場合、出願資格を満たすための語学試験受験のため、出発の1年半～2年前くらいから準備する必要があります。春期・夏期休暇中のプログラム参加にも、約4カ月前の申込が必要です。

準備 出発の1年半～2年前

Step1: 留学形態の決定

- 留学の目的を明確化・留学形態の決定
- 申込時期の確認
- 十分な資金があるか家族に相談、奨学金情報の収集
- 卒業時期はどうするか、留学と将来の関連性を考える

Step2: 留学先選択

- 一般的な留学情報や希望する国・地域、大学の情報収集
- 希望留学先の絞り込み
- 出願条件確認、語学試験の受験
- (私費留学) 留学先の申込書式取り寄せ
- (交換留学、一般留学) 所属学科長に相談

Step3: 出願

- (交換留学) 出発の概ね1年前に出願・学内選考あり
- 願書その他必要書類を締切りまでに送付

Step4: 入学手続き

- パスポート取得、期限確認
- 入学許可書類の受け取り
- 宿舍手配
- 諸費用の支払い

Step5: 渡航準備

- 予防接種
- ビザ取得
- 航空券・指定海外留学保険・危機管理サービスの加入手配
- 「留学願(交換・一般留学)」 「休学願(休学留学)」等を大学に提出

出発

巻末に2017年度にグローバル教育センターで取り扱っている各種プログラムのスケジュールを掲載しています！

A 情報収集

留学を実り多いものにするためには、留学先の国や地域、留学希望大学について事前の情報収集が欠かせません。留学や海外勉学に関する情報は、インターネットや書店などで豊富に得ることができますが、グローバル教育センター主催の留学ガイダンスに参加したり留学情報提供機関に相談するなどして、生の情報も得ると良いでしょう。

留学ガイダンス・留学フェア日程は、裏表紙に掲載しています。

(1) グローバル教育センター

場所：2号館1階

窓口時間：月～金 9：30～11：30、12：30～17：00

各種問い合わせのほか、交換留学協定校から届いた大学情報や交換留学帰国レポートの資料をPCで閲覧できます。

(2) Loyola ダウンロードセンター

交換留学帰国レポートや交換留学協定校のInformation Sheetをダウンロードすることができます。

Loyola > ダウンロードセンター > [グローバル教育センター]フォルダ内

(3) 国別留学情報提供機関

主要国全般および留学基本情報

独立行政法人日本学生支援機構 <http://ryugaku.jasso.go.jp/>

国・地域	名称	HP
中華人民共和国	大使館	http://www.china-embassy.or.jp/jpn/
大韓民国	大使館	http://jpn-tokyo.mofa.go.kr/worldlanguage/asia/jpn-tokyo/main/index.jsp
台湾	台北駐日経済文化代表処	http://web.roc-taiwan.org/jp_ja/index.html
フィリピン共和国	大使館	http://tokyo.philembassy.net/ja/
タイ王国	大使館	http://www.thaiembassy.jp/rte1/
シンガポール共和国	大使館	http://www.mfa.gov.sg/content/mfa/overseasmission/tokyo/jp.html
グレートブリテン・北アイルランド連合王国(英国)	大使館	https://www.gov.uk/government/world/japan/ja
	ブリティッシュ・カウンシル	https://www.britishcouncil.jp/studyuk
ドイツ連邦共和国	大使館	http://www.japan.diplo.de/Vertretung/japan/ja/Startseite.html
	ドイツ文化センター(ゲーテ・インスティテュート)	http://www.goethe.de/ins/jp/ja/tok.html
	ドイツ学術交流会(DAAD)	http://tokyo.daad.de/wp/
フランス共和国	大使館	http://www.ambafrance-jp.org/Japonais-
	フランス政府留学局(CampusFrance)日本支局	http://www.japon.campusfrance.org/

国・地域	名称	HP
イタリア共和国	大使館	http://www.ambtokyo.esteri.it/ambasciata_tokyo
	イタリア文化会館	http://www.iictokyo.esteri.it/iic_tokyo/
	(財)日伊協会	https://www.aigtokyo.or.jp/
スペイン	大使館	http://www.exteriores.gob.es/Embajadas/TOKIO/ja/Paginas/inicio.aspx
ポルトガル共和国	大使館	http://embaixadadeportugal.jp/jp/
ロシア連邦	大使館	http://www.russia-emb.jp/japanese/
スイス連邦	大使館	https://www.eda.admin.ch/tokyo.html
ベルギー王国	大使館	http://diplomatie.belgium.be/japan/
オーストリア共和国	大使館	http://www.bmeia.gv.at/jp/botschaft/tokio.html
オランダ王国	大使館	http://japan-jp.nlembassy.org/
スウェーデン王国	大使館	http://www.swedenabroad.com/ja-JP/Embassies/Tokyo/
アイルランド共和国	大使館	https://www.dfa.ie/irish-embassy/japan/
デンマーク王国	大使館	http://japan.um.dk/ja.aspx
フィンランド共和国	大使館	http://www.finland.or.jp/Public/Default.aspx
ノルウェー王国	大使館	http://www.norway.or.jp/studywork/
ルクセンブルク大公国	大使館	http://tokyo.mae.lu/jp
ブラジル連邦共和国	大使館	http://toquio.itamaraty.gov.br/pt-br/
アルゼンチン共和国	大使館	http://www.ejapo.mrecic.gov.ar/ja
チリ共和国	大使館	http://chileabroad.gov.cl/japon/
メキシコ合衆国	大使館	https://embamex.sre.gob.mx/japon/index.php/ja
ペルー	大使館	http://embajadadelperuenjapon.org/ja/
アメリカ合衆国	大使館	http://japanese.japan.usembassy.gov/
	日米教育委員会・留学情報相談サービス	http://www.fulbright.jp/
カナダ	大使館	http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/
オーストラリア連邦	大使館	http://australia.or.jp/
ニュージーランド	大使館	https://www.mfat.govt.nz/en/embassies/

(4) その他の留学情報提供機関

一般社団法人留学サービス審査機構

<http://www.jcross.or.jp/>

一般社団法人留学サービス審査機構は、留学サービスの事業者団体と、留学を専門に消費者相談や紛争処理を行う消費者団体が協働し、事業者が遵守すべき新たなルール(基準)を作成し、個々の事業者がそのルールを満たすかどうかの認証を第三者の立場で行うために設立した団体です。ウェブサイトからは認証を受けた事業者リストを参照することができます。

B TOEFL iBT®テストについて

アメリカの非営利団体ETSが世界各地で実施し、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測定する試験。最近ではTOEFL iBT®テストが導入され、指定されたテスト会場を予約し、テストセンターのコンピューターを用いて試験を受ける形式になっています。年に約40回、国内のテストセンターにて実施されています(主に土・日)。英文を読み、講義を聴いてその内容についてSpeakingで回答する問題があるなど、海外の大学で遭遇する場面を想定した問題形態で出題されます。

名 称：TOEFL iBT®テスト
 主 催：Educational Testing Service (ETS) <http://www.ets.org/toefl>
 問い合わせ先：国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部 TOEFL 事業部
<http://www.cieej.or.jp/toefl/>
 ※受験に関わる一般情報
 プロメトリック(株)予約受付センター 電話：03-6204-9830
 受 験 料：US\$235(受験日の7日前まで)
 構 成：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
 所 要 時 間：4～4.5時間(うち休憩10分間)

結 果：試験の約10日後にインターネット上の自分のアカウント(My Home Page)でスコアの確認が可能になります。発送されるスコア票にはETSから教育機関に発送されるOfficial Score Reportsと本人控えとして送られるTest Taker Score Reportの2種類があります。Test Taker Score Reportは本人が希望した場合のみ送付されます。ETSからスコア票が発送されるのは試験日から約13日後です。

採点処理はETSで行われるため、結果到着が前後することもあります。日程に余裕を持って受験してください(送付先がアメリカ国外の場合、発送から到着まで4～6週間程かかります)。

スコア：TOEFL iBT®テストは120点満点(各セクション30点満点)。公式スコアの有効期間は受験日から2年以内。公式スコアの有効期間内はETSから教育機関へスコアを直送してもらうことが可能で、多くの大学ではこの方法でのスコア提出を求められます。なお、TOEFL ITP®テスト(団体向けTOEFLテストプログラム)のスコアは、一部の協定校でのみ認められます。

®=登録商標のこと

学内でTOEFL説明会を実施します。詳細は裏表紙を参照してください。スコア対照表は巻末に掲載しています。

3 留学費用について

A 滞在費について

留学先の地域、滞在期間、留学先(大学、語学学校等)、滞在先宿舎や休暇中の過ごし方および為替レートによっても変わりますが、滞在費として概ね次の金額が目安となります。

1年間留学する場合：120～200万円程度
 1学期間留学する場合：70～120万円程度

※交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除されます。→P.37参照
 私費留学(一般留学・休学)の場合、上記金額に更に留学先授業料が必要となります。

滞在費以外でも、出発前に必要な経費もあります。留学前に全滞在期間中の留学費用の支弁証明書を求められることも多いので、十分な資金計画を立ててください。

滞在費以外に必要なもの(例)：

- 渡航費用
- ビザ取得費用
- 健康診断、予防接種費用
- 海外留学保険・危機管理サービス加入費用等

B 海外勉学中の上智大学学費について

形態	学費
交換留学および一般留学(1年以内)	留学中も在學生として通常通り本学の学費が請求されます。(留学中の本学での在籍状態は「留学」) ※国際教養学部生の場合、授業料は単位換算によって本学において修得したものとみなされる単位数が確定した時に請求します。 ※修学奨励奨学金を受給している場合は、留学前に学生センターに相談すること。
1年を超えて留学する場合	一般留学の継続または交換留学後に一般留学に切り替えた場合、または複数の交換留学プログラムに参加したことにより留学期間が1年を超えた場合は、一部減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。
海外短期語学講座および海外短期研修	通常通り本学の学費が請求され、参加には別途プログラム費用がかかります。(一部プログラム費用が免除となるコースもあり)
休学して留学	本学学費の減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。

奨学金について

留学に関する給付奨学金（返還不要）は、大きく分けて①公費奨学金（日本および各国の政府関係機関等から）、②民間財団基金や企業等の奨学金、③本学および留学先大学の奨学金の3種類があります。応募方法は、大学を通じて応募するものと個人で直接応募するものがあります。奨学金により募集の時期や条件等は異なりますが、応募手続、選考試験、留学先大学の選定・手続き等に準備期間が必要となります。

大学を通じて応募する奨学金

下記奨学金は、本学で選考を行うものおよび本学から推薦された後に奨学金支給団体による選考が別途行われるものです。募集情報は都度Loyola掲示板または本学ホームページでお知らせします。

名称	対象	支給内容	条件等
日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣) 奨学金	交換留学生	地域によって 月額6-10万円	交換留学期内選考合格者を対象に募集。時期によっては割当がない場合もある。本学からは2016年度は年間109名採用。
海外留学奨励費	「一般留学」者	10万円 (1学期) 20万円 (2学期)	「一般留学」の形態で留学する者。(2016年度12名採用)
トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム	留学形式を問わず 海外留学・ インターンシップ を行う者	地域によって 月額6-16万円 授業料・渡航費も支給	本プログラム内の4つのコースから該当するものを選択し、大学を通して応募。本学からは2016年度に採用されたのは5期11名、6期7名。
日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (大学院学位取得型) 奨学金	海外の大学院にて 修士・博士の学位 取得を目指す学生	授業料 (上限250万円) および地域によって 月額93,000円～156,000円	成績・語学力の基準、年齢制限あり。本学からは2016年度は2名採用。
ケルン奨学金	ドイツのケルン 大学に留学する 交換留学生	月額650ユーロ	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
よしや アイリーン 吉彌・愛琳 アイランド 留学奨励費	アイランドへの 交換留学生	15万円	交換留学期内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
大坂ドイツ留学 奨励費	ドイツへの 交換留学生	10万円	交換留学期内選考後、ドイツ文学科・ドイツ語学科に在籍する派遣決定者の中から選考。年間3名採用。

団体名・奨学金名	対象	支給内容	条件等
グローバル リーダー 養成奨励費	海外短期研修参加者/ 交換留学生	5～30万円	指定のプログラムで留学する者。2017年度は交換留学参加者を対象に支給予定。
上智大学篤志家 (理工学部同窓会) 奨学金	理工学部開講の海外 短期研修参加者	8～10万円程度(予定)	出願先：学生センター 対象：同プログラムに参加する理工学部および理工学研究科の学生。 出願時期や出願方法についてはLoyola掲示板を見ること。詳細は学生センターに問い合わせること。

その他、学生センターでは以下の留学中貸与奨学金（日本学生支援機構）の募集を行っています。出願要件・期間等の詳細は学生センターにお問い合わせください。

- ・「第一種奨学金【海外留学支援制度給付者対象】」（無利子）
- ・「第二種奨学金【短期留学】」（3ヶ月以上1年以内に留学する者が対象、有利子）
- ・「第二種奨学金【海外】」（海外大学・大学院への進学者が対象、有利子）

個人で直接応募できる奨学金

Loyolaまたはホームページ (HOME > グローバル教育・留学 > 国際交流 / 留学 > 留学費用 / 奨学金) を参照してください。また、留学にかかわる奨学金情報は、日本学生支援機構のホームページからも見ることができます。

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

4 留学中の留意点

A 危機管理

自然災害、感染症、テロ、交通事故、暴力犯罪等に留学生が巻き込まれる可能性は常にあり、過去に実際に本学学生が事故などに遭ったケースも報告されています。

どうしても防ぎきれない突発事故がある一方、日ごろから各自が注意することで未然に防止できる事件・事故も多くあります。

自分の身は自分で守る、ということを再認識し、現金や貴重品の取り扱いに注意する、暗い道の一人歩きは避ける、危険地域には近づかないなど、留学中は日本で生活する時以上に安全に注意して行動することが大切です。

渡航先の治安・医療事情の最新情報は出発前に必ず入手してください。また、現地警察・滞在先の在外公館の電話番号、保険会社の連絡先、留学先大学の緊急連絡先などは常に携帯しておくといざというときに役立ちます。

外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

外務省世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

□ 留学中滞在先および連絡先の周知

留学期間中の緊急連絡先（現地の寮の電話番号、メールアドレス等）は家族、日本の知人、大学関係者（現地および本学）に必ず知らせてください。また、旅行で宿舍を長期に不在にするときや転居する場合も必要などところに必ず連絡してください。日本にいる家族・知人はあなたが思っている以上に心配しています。こまめな連絡を忘れないように心がけ、滞在国や地域で事件や事故、災害などがあった場合は、自分から家族へ連絡し、無事を知らせてください。

□ 在留届

3カ月以上海外に在留する日本人は法律により最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出することが義務付けられています。留学先到着後速やかに手続きが必要です。出発前のオンライン登録も可能ですので、外務省のHPを参照のうえ、必ず手続きをして下さい。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/>

□ たびレジ

海外に3カ月未満滞在中に登録すれば、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メールや、いざという時の緊急連絡などが受け取れる外務省の海外旅行登録システムです。3カ月未満のプログラムに参加する方や留学先から第三国へ旅行する際には、旅行日程・滞在先・連絡先等を必ず登録してください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

B 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について

交換留学をはじめ、海外渡航プログラムに参加することは、長期・短期を問わず語学力の向上や異文化対応能力を身につける絶好の機会となります。その一方で、安全で衛生管理の行き届いた日本社会に暮らす私たちには予想できないような環境や、不測の事態に対応しなければならないことも起こりえます。

上智大学ではこうした事態に対応できるよう、学生のみなさんの海外渡航時の危機管理体制を構築・運用しており、大学に届出を提出して海外渡航する学生のみなさんには全員、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務づけています。

1. 対象者

大学が関与するすべての海外渡航プログラムに参加する学生

（個人的な旅行などを除き、大学のプログラムの一環として海外に渡航する方。一般留学や休学留学の方も含まれます。）

No.	プログラムの種類
1	交換留学
2	海外短期プログラム（語学講座、短期研修、実践型プログラム）、インターンシップ科目
3	グローバル教育センターが提供する1、2以外のプログラム
4	学部・学科などグローバル教育センター以外が主催するプログラム* *ドイツ語学科「在外履修」、総合グローバル学部「自主研究」、学生センター主催 海外プログラム、キャリアセンター「インターンシップ」等
5	一般留学・休学留学
6	研究発表（学会参加）・ゼミ合宿等による海外渡航・特別研究員 DC1/DC2

海外での課外活動の実施は加入の要否を確認しますので、まずは学生センターに問い合わせください。

2. 指定保険ならびに危機管理サービス

渡航前に①と②両方の加入が必須です

①海外留学保険：

学生教育研究災害傷害保険（学研災）*に付帯する海外留学保険「学研災付帯海学」*教育研究活動中の災害に対して必要な給付を行う災害補償制度で、学研災には本学在籍者は全員加入済です。

※2016年度は全国245大学が参加。スケールメリットを活かした割引保険料が適用されるため、一般的な海外旅行保険よりも割安に加入することができます。

②危機管理サービス

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）が提供する「海外留学生トータルサポートサービス（J-TAS）」で、学生と保証人は24時間365日サポートデスクを利用することができます。

なお、①と②両方の加入が必須です。

問い合わせ先：グローバル教育センター（2号館1階）

C メンタルヘルスについて

留学は気軽に参加できるプログラムが増え、選択肢も広がっています。他方、プレッシャーや生活環境の変化への適応困難、対人関係の難しさなどにより、留学中に体調だけでなく精神の不調を訴える人も増えてきています。

留学は生活環境も習慣も異なる場所で家族や仲のよい友人から離れて一人で過ごすことになるため、留学前に思い悩み不安になる、出発後、カルチャーショックやホームシックになるというのは誰にでも起こりうることです。また、留学を開始して、勉強方法や対人関係の違いに戸惑ったり、授業や課題のスピードについていけず壁にぶつかったりすることもあるでしょう。

出発前に留学先で使用する言語を学ぶ、勉強の進め方に違いがあることを理解して、レポートや課題の準備の仕方など学習方法に慣れておく、留学先の文化や習慣を把握する、現地の情報を集めておく、自分がストレスに対して身体面、感情面、行動面でどのように反応しやすいか気づくなどが、留學生生活をスムーズにスタートする際、効果的です。

到着後しばらくは生活に慣れることが先決です。食事や睡眠などできるだけ規則正しい生活を送ることで生活にリズムをつける工夫をしてみましょう。多少の落ち込みや不安は誰でも経験することです。あせらずに、適度に身体を動かすなど気晴らしをする、わからないことをそのままにしたり誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分から質問したり人に働きかけたりする、自室に1人でこもらないなども意識してみましょう。また、出発前に目的を見失った場合などは、再度P.05にあるような自己分析を行ってみてください。

自分なりに対処しても、落ち込んだ状態や孤独感、無気力などから抜け出せない、夜眠れない、食欲がない、疲労感が回復しない、勉強に集中できない、人との接触や交流を避けるなどの状態が続く場合は、早めに家族や友人、専門家などに相談し、自分ひとりで抱え込まないようにすることが大切です。

出発前であれば身の回りの人だけでなく学内の保健センターやカウンセリングセンター、グローバル教育センターで相談することもできますし、留学中であれば早めに留学先の大学のカウンセリングセンターやInternational Student Officeのスタッフに話してみるのもいいでしょう。

留学期間を快適に有意義に過ごすためにも、心身の健康を保てるよう十分留意してください。



第Ⅱ部 | 上智大学の海外勉学制度

part2. Study Abroad Programs at Sophia University



1 上智大学での留学の種類

本学における「留学」には、『交換留学』と『一般留学』があります。また、学籍上「留学」の扱いにはなりません。長期休暇中に「海外短期語学講座」「海外短期研修」「実践型プログラム」に参加したり、「休学」して海外勉強することもできます。

【交換留学】

本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣、受入する制度です。ACUCA 枠・日加枠・3キャンパス枠交換留学もこれに準じます。上智大学交換留学生として留学する場合、留学期間中の学費は本学にのみ納入し、留学先大学での授業料は免除されます。(ただし、個人で語学講座等に参加する場合の費用は自己負担。また、語学力不足により語学講座履修を義務づけられた場合、費用負担が発生することがあります。) 詳細は第Ⅲ部「交換留学」を参照してください。

【交換留学(英語集中コース)】

交換留学協定校で行われている英語集中コースへの1学期の留学。学費は本学に納入し、留学先大学での授業料は免除されます。詳細はP.38を参照してください。

【Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)】

提携先の中南米6カ国13大学のいずれかで、1学期または1年間の長期留学(交換留学)や短期留学プログラムに参加することができます。長期留学中の学費は本学に納入し、留学先大学での授業料は免除されます。さらに留学費用について一部援助があります。詳細は第Ⅲ部「交換留学」を参照してください。

【一般留学】

学位授与権のある大学に、事前に所属学部長・学科長の許可を受けて留学するものです。留学先は自由に選べますが、留学手続きはすべて個人で行い、学費も本学と留学先大学の双方に納入する必要があります。協定校以外の大学については、各国留学情報提供機関を利用するとよいでしょう。語学学校等の専門学校は一般留学の対象になりませんが、大学付属のプログラムなどが学科によっては対象となる場合もあります。詳しくは所属学科長に確認してください。

【海外短期語学講座】

本学の夏期・春期休暇中に、海外で行われる3～5週間の語学プログラムです。詳細はP.25を参照してください。

【海外短期研修】

本学の夏期・春期休暇中に開講される、外国語で専門分野の講義を受講する研修プログラムです。詳細はP.25を参照してください。

【実践型プログラム】

1学期間または夏期／春期休暇中に、海外でフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。詳細はP.29を参照してください。

【休学による海外勉強】

本学を休学して海外勉強するもので、留学先の制限はありません。休学期間の授業料は減額されますが、休学期間は修業年限に算入されないため、4年間で

卒業することはできません。本学休学中に留学先で単位を取得しても、本学での単位認定はできません。

海外勉強の形態

本学での名称	留学先	期間	諸手続	*学費	単位の換算	4年間での卒業	人数 (2016年度)
交換留学	本学と交換協定のある約250大学	1年 または1学期			30単位まで 認定可能	可	315
交換留学 (英語集中 コース)	本学指定の協定校	1学期	個人/ グローバル 教育センター の補助あり (選考あり)	上智大学に のみ納入	原則として 語学科目/ 一般外国語 科目に認定 可能	可	27
LAP	本学との 提携大学である 中南米諸国 6カ国13大学	1年 または1学期			30単位まで 認定可能	可	3
一般留学	学位授与権の ある大学で、 事前に学科長が 許可した大学	1学期～2年	個人で行う	上智大学お よび留学先 大学に納入 (奨励費の 支給有)	30単位まで 認定可能	1学期～ 1年留学 の場合可	44
海外短期 語学講座	本学指定の講座 (P.26、28参照)	3週間～5週間 (夏期・春期休 暇中)	グローバル 教育センター	実費要	語学科目/ 一般外国語 の単位付与 可能	可	373
海外短期 研修	本学指定の研修 (P.27、28参照)	2週間～6週間 (夏期・春期休 暇中)	グローバル 教育センター (選考あり)	実費要	全学共通科 目(選択科 目)または 学科科目に 単位付与・認 定可能	可	91
実践型 プログラム	本学指定の プログラム (P.29-30参照)	1週間～3週間 (夏期・春期休 暇中)	グローバル 教育センター (選考あり)	実費要	全学共通科目 (選択科目)の 単位付与可能	可	110
休学による 海外勉強	個人が決定。ただし、学科長の 指導要。		個人で行う	上智大学学 費は減額措 置あり	不可	不可	286

* 本学学費の詳細については、本学公式HP掲載の学費案内参照。

URL : <http://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/tuition/gakuhiannai/>

2 留学に関する規則（交換留学・一般留学）

A 留学の資格

学部生で留学を希望する者は、留学出発までに本学に少なくとも1年以上在学し、留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておく必要があります。留学した年度は在学期間に算入されるため、学則第40条（注）の対象となります。（交換留学の学内選考出願は1年次でもできますが、留学開始は2年次以降となります。）

（注）連続する2カ年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する（学則第40条）

大学院生で留学を希望する者は、留学出発までに本学大学院に1年以上在学し、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していることが必要です。ただし、指導教員及び専攻主任の許可がある場合は、本学大学院に1学期在学しており、10単位以上履修登録することで基準を満たすこととします。出願前の留意事項についての詳細は履修要綱を参照してください。

B 留学の期間

1. 留学期間は1年（2学期）または半年（1学期）です。ただし、継続して留学が許可された場合は最長2年まで延長できます。交換留学の場合は出発前に留学期間が指定されます。

※交換留学の場合、「交換留学」の身分は最長1年（2学期）

但し、申込時に半年（1学期）とした場合、その後「交換留学」の身分を1年（2学期）に延長することはできません。

2. 2年間留学した場合、2年とも「在学期間」に算入されますが、「修業年限」に算入されるのはそのうちの1年間だけです。

※修業年限→卒業に必要な4年間 ※在学期間→本学に最長在学できる8年間

C 留学の延長または取消し

1. 許可された留学期間を超える場合は、その期間終了の1カ月前までにあらためて留学願を提出し、許可を受けてください。
2. 留学をやむをえず取消す場合は理由書を添えてすみやかに手続きを行ってください。交換留学の場合はグローバル教育センターに、一般留学の場合は学事センター（学籍）に事前にご相談ください。

D 留学前後の手続一覧（詳細については各該当箇所を参照のこと）

留 学 前

窓口	手続・提出書類等	注意
グローバル教育センター	「留学願(交換留学)」	提出前に学科の指導を受けること
	指定保険・危機管理サービス加入	出発1ヶ月前までに窓口で問い合わせること
学事センター(学籍)	「留学願(一般留学)」	提出前に学科の指導を受けること「留学願(一般)」は留学の1カ月前までに提出すること

留 学 中

帰国後の単位換算に必要な書類を確認し、留学先大学で通常発行していない書類や、単位換算の申し込み時点で間に合わないおそれのある書類などは、余裕を持って留学先大学に請求しておくこと。(P.22「単位換算について」参照)

帰 国 後

窓口	手続・提出書類等	注意
学事センター(学籍)	「帰国届」	旅券コピー(日本で押印される出国、入国のスタンプのあるページ)を添付すること
学事センター(教務)	履修要覧の受取り	学生証を提示する
	◇修得単位換算願	◆P.21「履修登録について」参照 ◆登録されていない科目の単位は修得できないので必ず確認のこと ◆P.22「単位換算について」参照
グローバル教育センター	「交換留学レポート」	交換留学の場合のみ

☆ 履修登録や単位に関する相談は、学事センター(教務)で行うこと。

3 履修登録について

履修計画

留学の種類や留学期間によって卒業の時期は異なりますが、計画通りの時期に卒業するためには、事前に履修計画をしっかりと立てておく必要があります。卒業の要件は、①修業年限を満たす②卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得する、の2点です。この条件が満たされると、留学中であっても修業年限を満たした年度の3月に自動的に卒業となります(4月入学者の場合)。

前年度の履修科目や単位換算の予定を含め十分に計画を立て、学科の履修指導を受けてください。

【帰国後の国際教養学部夏期集中講座(Summer Session)の履修について】

1年間(秋学期・春学期)留学して、帰国後、国際教養学部の夏期集中講座(サマーセッション)を履修することができます。その際には、学事センター(学籍)窓口で「帰国届」の手続きを行った上で、必ず学事センター(教務)窓口で登録の手続きについて説明を受けてください。

春学期に休学している場合は夏期集中講座は履修できません。

4 単位換算について

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます。ただし単位数は、本学の基準により換算するので、留学先大学で修得した単位数のままでは算入されません。上智大学で開講している科目名や単位数に読みかえることなく、留学先大学で取得した科目を上智大学の基準で計算した単位数に換算します。その際、その換算により必修科目等の履修が免除されることもあります。

1. 必要書類

*帰国後、提出書類を元に単位数の計算根拠等の確認を行います。これらの書類がすべて揃わないと、単位換算手続きができないので、十分注意すること。

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの	成績証明書	大学発行の大学印および署名のある 原本 ※プリントアウト、コピー不可
	成績の評価基準を示す文書	合否の基準(どの評価までが単位修得となるのか)が明記されているもの(成績証明書に記載があれば、それも可)
	留学先大学の学年暦	授業開始日・終了日、試験期間、休暇期間を示す書類 ※HPなどのプリントアウト、コピーでも可
	各科目シラバス (講義内容が書かれた書類)	成績証明書と科目名が一致していること ※HPなどのプリントアウトも可 ※シラバスがない場合は、担当教員に事情を説明し必ず作成してもらうこと。 シラバスがない科目については単位換算申請できません。
	クラススケジュール (各科目の時間割)	各科目の時間数(1科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および1限あたりの時間)を示す書類 ※シラバスや成績証明書等に記載されている場合は不要。
帰国後に受取るもの	修得単位換算願・単位換算計算用紙	学事センター(教務)窓口にて受け取る
	Academic Records ※国際教養学部のみ	国際教養学部事務室にて受け取る

*換算内容によっては、上記の書類を英語または日本語に翻訳する必要があります。不明な点は学事センターに問い合わせること。

*「語学科目/一般外国語科目」を換算希望の場合

- (1)内容が判定できる書類(シラバス、テキスト、テスト等)が必要です。
- (2)原則として単位換算時には留学先の大学で修得した語学科目のレベルは問いませんが、各自のレベルに見合った科目を履修してください。なお、わからないことがある場合には事前に学事センター(教務)に相談してください。

*“tutorial”や“independent study”など、一定の授業時間を持たず、レポートや論文などの成果物をもって成績評価される科目があります。これらの科目を換算希望の場合は、論文と詳細な論文指導内容の提出を求められますので、担当教員にシラバスを作成してもらってください。

【注意】 大学によっては、必要事項が記載された書類が発行されていない場合があります。その場合は以下の書類を揃えてください。

- ①授業内容や時間数に関しては担当教員のサインのある証明書
- ②学年暦や成績評価基準に関しては交換留学オフィス等発行の書類、もしくはHP等のプリントアウト
特に授業時間に関しては、曜日・時限のある詳しい記述が必要ですので、注意してください。

2. 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

1回の授業 週の授業 科目の開講 上智大学の
時間(分換算) × 回数 × 期間(週数) ÷ 基準時間

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

1年間の総授業時間数 × 60(分換算) ÷ 上智大学の基準時間

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分 (1単位)
外国語・演習	1,350分 (1単位)
実験・実習	2,025分 (1単位)
体育実技	1,350分 (1単位)

* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

3. 単位換算願の手続

- (1) 帰国後、「修得単位換算願」および「単位換算計算用紙」に必要事項を記入します。
- (2) 前頁の必要書類をもって所属学科の指導を受け、「修得単位換算願」に指導印をもらいます。(卒業要件のどの科目区分に何単位分として認定してもらう予定か、また換算後の履修計画等を踏まえたうえで、換算を希望すること。)なお、学科指導を受ける前に、学事センターにて計算方法に間違いがないか、換算可能な単位数を確認しておくことを勧めます。
- (3) 帰国後3カ月以内に、前記必要書類を学事センター(教務)に提出してください。(換算が終わるまで約1カ月を要するので、履修登録の日程を踏まえ、提出の時期を考えること。成績証明書は返却しないので、注意すること。)連続して複数のプログラムに参加した場合は、全てのプログラムの終了・帰国後3カ月以内に提出することも可能です。

* 留学による単位換算を含む単位認定の取り扱い期間

春学期単位認定分として取り扱う期間:2017年2月2日(木)~2017年7月21日(金)
秋学期単位認定分として取り扱う期間:2017年7月24日(月)~2018年1月30日(火)

上記の期間内に全ての必要書類を提出することが必須となります。
国際教養学部生は学費請求の都合上、上記にかかわらず次学期の単位認定となる場合があります。

- (4) 換算に際し必要がある場合には、さらに書類の提出や面接を求められることがあります。
- (5) 換算が終わると教学支援システム“Loyola”の掲示板機能にて呼び出しを行なうので、必ず学事センター(教務)で換算後の修得単位換算願の写しを受け取り、卒業要件や今後履修すべき科目等よく確認してください。(単位換算をすると、卒業に必要な単位数の計算が複雑になるので十分な注意が必要です。不明な点は換算後すぐに相談すること。なお、この写しは再発行されない為、卒業まで大切に保管すること。)
- (6) 換算に際し提出した書類はいかなる理由があっても返却できません。必ず事前に写しを取っておいてください。

4. 注意

留学による単位換算は1プログラムにつき1度しかできません。また、決裁後の換算内容の変更等も一切できません。単位換算はその後の履修計画や卒業要件に関わりますので、学科の先生と面談のうえ、慎重に行ってください。

なお、以下のことはできませんので、注意してください。

- ・郵送や代理人による申し込み。
- ・本学休学中に海外の大学で修得した科目の単位換算。
- ・体育以外の実技科目(例えばタイプライティング、ピアノ等音楽のレッスン、陶芸、デッサンなど)の単位換算。

5. その他

- (1) 計算して例えば3単位となった科目の同種別科目を2つ合わせて6単位換算し、この6単位をもって4単位の必修科目等に充当させることがあります。
- (2) 学科科目として換算を希望する場合、換算する科目ごとに計算した結果、小数点第1位までの和をもって総換算単位とすることができます。(総換算単位の小数点以下は切り捨て)

(例) 学科科目

科目名	計算結果
国際政治	4.5
アメリカの政治	4.2
経済学	3.2
ジェンダー論	0.9

計算結果合計 = 12.8単位
換算単位 = 12単位

- (3) 全学共通科目として換算を希望する場合も、前記(2)の方法に準じますが、各カテゴリー別(必修、選択必修(キリスト教人間学)、選択)に換算します。

5 海外短期プログラム(夏期・春期休暇中)について

海外短期語学講座 プログラム一覧表はP.26、P.28参照

語学教育の一環として、本学の交換留学協定校等が主催する語学プログラムに参加するもので、語学能力の向上を目的としています。各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、留学先で所定の成果を修めた者には、語学科目/一般外国語の該当言語科目の2単位が付与されます。付与単位の評価は“P”となります。付与された単位が卒業要件に算入されるかどうかは履修要覧を参照し確認してください。

*各プログラム内容の詳細、参加条件、申込方法等は、Loyola掲示板を参照してください。

海外短期研修 プログラム一覧表はP.27、P.28参照

海外の名門大学で実施される短期プログラムへ参加し、外国語で専門科目を学びます。各プログラムごとに、必要とされる語学能力が定められています。海外短期研修には、①修得した単位を単位換算手続きによって本学の修得単位として認定するもの(認定単位の評価は“N”)、②本学の開講科目として取り扱い、プログラム修了者に単位が付与されるもの(付与単位の評価は“P”)の2種類があります。認定・付与単位数はプログラムにより異なります。

*各プログラム内容の詳細、参加条件、申込方法等は、Loyola掲示板を参照してください。

※短期語学講座(英語圏)と、研修(理工学部向けプログラムおよび西オーストラリア大学)については、プログラムの事前・事後にTOEFL ITP®を受験します。

◇TOEFL ITP® 年間スケジュール◇

- (1) 2017年 4月 8日(土) 9:30集合
- (2) 2017年 9月 13日(水) 9:30集合

※説明会日時・プログラム内容・募集日程等は変更、中止される可能性があります。詳細は申込受付の約1カ月前に公表されますので、Loyola掲示板を確認してください。

夏期休暇中開講

①海外短期語学講座

■募集説明会:4月

■申込受付期間:

【英語圏】2017年4月19日(水)~21日(金)(予定)

【英語圏以外】2017年5月8日(月)~10日(水)(予定)

■コース一覧 ※「概算費用」は2016年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間 (2017年度予定) /滞在形態	概算費用 (万円)	2016年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月11日~9月8日(4週間) ホームステイ/学生寮(選択)	ホームステイ:70 寮:83	16	2
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	7月31日~8月18日(3週間) ホテル	77	16	2
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	8月8日~8月25日(3週間) ホームステイ	52	15	2
マギル大学	カナダ	英語	8月7日~8月25日(3週間) 学生寮	65	29	2
マンチェスター大学	イギリス	英語	2017年度新設(4週間予定) 学生寮	53	-	2
オークランド大学	ニュージーランド	英語	8月14日~9月8日(4週間) ホームステイ	57	25	2
フライブルク大学	ドイツ	ドイツ語	8月3日~8月25日(3.5週間) 学生寮	40	20	2
フランシュ・コンテ 大学	フランス	フランス語	7月31日~8月25日(4週間) ホームステイ	53	12	2
コインブラ大学	ポルトガル	ポルトガル語	2017年度新設(4週間予定) 学生寮	-	-	2
ペルージャ外国人大学	イタリア	イタリア語	7月31日~9月1日(5週間) 学生寮	37	14	2
香港中文大学*	中国	中国語 (北京語)	8月5日~8月25日(3週間) 学生寮	25	15	2
韓国カトリック大学*	韓国	コリア語	8月予定(3週間) 学生寮もしくはホテル	20	8	2
韓国外国語大学*	韓国	コリア語	8月1日~8月23日(3週間) 学生寮もしくはホテル	25	7	2

*マークのついたプログラムは、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、国際教養学部生が本プログラムによって単位の付与を希望する場合には、2単位分の授業料が発生します。

春期休暇中開講

②海外短期研修

■募集説明会：4月

■申込受付期間：

【カリフォルニア大学ロサンゼルス校/デービス校(理工系)】2017年4月19日(水)～21日(金)(予定)

【オックスフォード大学・ロンドン大学】2017年5月8日(月)～10日(水)(予定)

※教皇立ハベリアナ大学については、Loyola掲示板を参照。

※トリアー大学については、ドイツ語学科事務室にお問い合わせください。

■コース一覧 ※「概算費用」は2016年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間 (2017年度予定) /滞在形態	概算費用 (万円)	2016年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	アメリカ	英語	8月7日～9月15日(6週間)	109	3	注)
			学生寮			
UCLA Summer Sessions(Section C) UCLA 正規生も受講するサマーセッション。 注)帰国後の認定単位数は履修科目により異なる。						
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月11日～9月8日(4週間)	ホームステイ: 72 寮:85	7	2
			ホームステイ/学生寮(選択)			
理工系学生のためのプログラム。理工系分野のレクチャーや企業訪問あり。理工共通I群。自由科目。						
ロンドン大学 SOAS	イギリス	英語	①Block 2:7月31日～8月18日	①55	①9	4
			②Block 3:8月21日～9月8日 (各3週間)			
学生寮						
国際関係論やグローバル・ビジネスなど、希望する Subject Course を選択するプログラム。						
オックスフォード大学	イギリス	英語	8月26日～9月8日(2週間)	57	2	2
			学生寮			
ジャーナリズムの基礎やジャーナリストとして必要な技能を学ぶ講座。 ジャーナリズムに特化した英語講座あり。						
教皇立ハベリアナ 大学 ※LAPプログラム (P.39を参照)	コロンビア	イスパニア語	8月8日～9月1日(4週間)	50	4	2
			未定			
イスパニア語学科対象とし、より高度なイスパニア語運用能力の習得を目的とする。渡航費一部補助あり。						
トリアー大学	ドイツ	ドイツ語	8月7日～9月1日(4週間)	35	2	2
			学生寮			
ドイツ語学科3・4年次生対象とし、ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。 (問い合わせ先:ドイツ語学科事務室)						
ワルシャワ工科大学	ポーランド	英語	9月2日～10日(9日間)	21	6	-
			学生寮			
理工学研究科の修士課程1・2年次生を対象とし、航空機工学を受講するプログラム。 注)帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。						

*「カリフォルニア大学ロサンゼルス校」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます。(単位換算手続きは不要。)ただし、国際教養学部生が単位認定した場合には、単位認定分の授業料が発生します。

①海外短期語学講座

■募集説明会：10月

■申込受付期間：【英語圏】2017年10月16日(月)～18日(水)(予定)
【英語圏以外】2017年11月6日(月)～8日(水)(予定)

■コース一覧 ※「概算費用」は2016年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(2016年度実績) /滞在形態	概算費用 (万円)	2016年度 参加者数(人)	付与 単位
カリフォルニア 大学デービス校	アメリカ	英語	2月10日～3月10日(4週間)	64	11	2
			ホームステイ			
プリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	2月27日～3月24日(4週間)	51	24	2
			ホームステイ			
マギル大学	カナダ	英語	2月27日～3月24日(4週間)	50	19	2
			ホームステイ			
ウーロンゴン大学	オーストラリア	英語	2月27日～3月24日(4週間)	42	27	2
			ホームステイ			
クイーンズランド 大学	オーストラリア	英語	2月13日～3月17日(5週間)	54	13	2
			ホームステイ			
オークランド大学	ニュージーランド	英語	2月7日～3月3日(4週間)	54	14	2
			ホームステイ			
オタゴ大学	ニュージーランド	英語	2017年度新設(4週間予定)	-	-	2
			ホームステイ			
アンジェ西 カトリック大学	フランス	フランス語	2月6日～3月3日(4週間)	42	24	2
			ホームステイ			
バルセロナ自治大学	スペイン	スペイン語	2月6日～3月3日(4週間)	34	35	2
			ホームステイ			
北京大学	中国	中国語	2月20日～3月17日(4週間)	32	10	2
			学生寮			
西江大学	韓国	コリア語	3月6日～3月24日(3週間)	27	9	2
			ホテル			
韓国外国語大学*	韓国	コリア語	2月28日～3月28日(4週間)	24	10	2
			ホテル			

*マークのついたプログラムは、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。ただし、国際教養学部生が本プログラムによって単位の付与を希望する場合には、2単位分の授業料が発生します。

②海外短期研修

■募集説明会：10月

■申込受付期間：【ノースカロライナ大学シャーロット校・西オーストラリア大学】2017年10月16日(月)～18日(水)(予定) 【バリ政治学院・ESSCA】2017年11月6日(月)～8日(水)(予定)

■コース一覧 ※「概算費用」は2016年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間(2016年度実績) /滞在形態	概算費用 (万円)	2016年度 参加者数(人)	付与 単位
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	2月24日～3月14日(3週間)	66	15	2
			ホテル			
理工系学生のためのプログラム。理工系分野のレクチャーや企業訪問あり。理工共通I群。自由科目。						
西オーストラリア大学	オーストラリア	英語	2月7日～2月24日(3週間)	52	20	4
			学生寮			
法学の要素を含む英語学習・法学の講義とともに、司法機関等の見学を行い、法律知識の向上を図るプログラム。						
バリ政治学院	フランス	英語	2月13日～3月10日(4週間)	68	4	4
			アパートメントホテル			
EUの政治・社会・経済に関する講座。講義内容に関連したテーマエッセイを作成。フランス語講座も受講可。						
ESSCA	ハンガリー	英語	2月6日～3月17日(6週間)	27	10	注)
			アパートメントホテル			
欧州ビジネスを中心に経済・文化等を学ぶ講座。ビジネス英語講座あり。 注)帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。						

*「ESSCA」については、研修で修得した単位が帰国後単位換算手続きをすることにより本学での修得単位として認定されます。その他のプログラムについては、本学の開講科目として取り扱われ、修了者には単位が付与されます。(単位換算手続きは不要。)また、交換協定に基づき実施されるため授業料は免除となります。ただし、国際教養学部生が単位認定した場合は、単位認定分の授業料が発生します。

6 実践型プログラム

学期中・休暇中に実施する、海外でフィールドワーク等を通じて実践的に学ぶプログラムです。

各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、現地研修において所定の成果を修めた者には、全学共通科目（選択科目）として単位が付与されます。付与単位の評価は"P"となります。

付与された単位が卒業要件に算入されるかどうかについては履修要覧を確認してください。

夏期休暇中プログラムの募集説明会は4月、申込受付は4月下旬・5月上旬、春期休暇中プログラムの募集説明会は10月、申込受付は10月下旬・11月上旬を予定。各プログラムの参加条件、申込方法等詳細についてはLoyola掲示板を確認してください。

■実践型プログラム一覧

※「概算費用」は2016年度費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

※プログラムごとに担当窓口が異なります。下記「問合せ窓口」に記載のフロアに位置するグローバル教育センターが担当となります。

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間 (2017年度予定)	概算 費用 (万円)	2016年度 参加者数 (人)	付与 単位	問合せ先 窓口
イエズス会・東アジア5 大学グローバルリーダー シップ・プログラム	夏期休暇中	日本(2017年度)	8月7日～11日(5日間)	-	6	2	2号館 1F
	イエズス会5大学(本学、西江大学(韓国)、輔仁大学(台湾)、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、サナタ・ダルマ大学(インドネシア))から学生が集い、学内での事前・事後研修、合宿形式の討論、講演の聴講、フィールドワーク等を通じ、国際理解とは何かについて学ぶプログラム。 *2017年度は本学にて実施予定。						
AJCU-AP サービスマニラ・プ ログラム ※AJCU-AP= Association of Jesuit Colleges and Universities-Asia Pacific	夏期休暇中	フィリピン (2017年度)	7月30日～8月15日 (17日間)	15	7	4	2号館 1F
	イエズス会の教育精神"Men and Women for Others, with Others"に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全、異文化理解、地域振興をテーマに、現代に生きる若者としてどのような社会貢献ができるかを、韓国・フィリピン・インドネシアの学生と共に学ぶことを目的とする。 *2017年度はアテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)にて実施予定。						
アフリカに学ぶ	夏期休暇中	カメルーン	8～9月(2週間)	50	14	2	2号館 1F
	春期休暇中	未定	2～3月(2週間)				
アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、現地での講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学の他、現地企業、産業育成・農業関連施設、芸術・エコツーリズムなどのセンター、日本大使館、JICA事務所、国連関連施設などへの訪問を予定。							
カンボジア・サービ スマニラ・プ ログラム	夏期休暇中	カンボジア	8月下旬(9日間)	20	20	2	2号館 1F
	カンボジアの歴史・文化を学び、現地カトリック教会が行なうサービス・アクティビティ等に参加することを通じて、他者を思いやる気持ちや異文化を理解する気持ちを育み、生きることを考える。本学の教育精神である"Men and Women for Others, with Others"を実体験として学ぶプログラム。						
インドの社会経済・人間 開発に学ぶ:南インドの ケララ州を実例に	夏期休暇中	インド	8月27日～9月8日 (13日間)	30	-	2	2号館 1F
	南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。						

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間 (2017年度予定)	概算 費用 (万円)	2016年度 参加者数 (人)	付与 単位	問合せ先 窓口
マイクロネシア・エクス ポージョツアー	夏期休暇中	マイクロネシア	9月上旬(1週間)	25	-	2	2号館 B1F
	マイクロネシアにて、現地の人々との交流やユネスコ文化遺産でもあるナン・マートル遺跡の見学等を通じて、文化・社会・環境について学ぶプログラム。						
国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	夏期休暇中	アメリカ	8月28日～9月1日 (5日間)	35	-	2	2号館 B1F
	ニューヨーク国連本部にて、国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行う。						
インド・サービスマニラ ・プログラム	春期休暇中	インド	2～3月(3週間)	40	8	4	2号館 1F
	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立した「神の愛の宣教師会」諸施設にてボランティア活動を行なう国際サービスマニラ・プログラム。						
メコン経済回廊スタ ディツアー-肌で感じる ASEAN共同体	春期休暇中	タイ・ラオス・ベト ナム	3月上旬(8日間)	20	6	2	2号館 1F
	メコン経済回廊に沿って移動し、経済特区やインフラ視察、企業や国連機関への訪問、文化遺産訪問、連携大学での学生交流等を通して同地域の経済発展について学ぶプログラム。2016年度は経済回廊のうち東西コースで実施。タイ、ラオス、ベトナムの三カ国に滞在した。						
ベルースタディツアー 「往還する南米日系人」	春期休暇中	ペルー	2月下旬～3月上旬 (約17日間)	40	8	2	2号館 1F
	「大学の世界展開力強化事業(中南米)」を構成するプログラムの一つ。秦野市日系コミュニティでの学習支援活動について学び、実際にペルーにいき、日系人ゆかりの地を訪問する。中南米やペルーの社会や文化を学ぶと共に、現地日系人コミュニティへの訪問等を通じて、文化背景を異にする人々が共に生きるために必要な多様な視野の獲得と、国際理解の促進を目指す。						
国連の役割と機能 (国連集中研修)	春期休暇中	アメリカ	2月中旬(5日間)	25	31	2	2号館 B1F
	ニューヨーク国連本部へ行き、現職国連本部職員から直に講義を受けたりディスカッションを行い、国連の役割と機能について理解を深める1週間の集中プログラム。国際社会が直面する課題を学び、将来国際社会で活躍できる人材を養成する。						
ワシントンDC・ 国際政治の現場を学ぶ	春期休暇中	アメリカ	3月中旬(6日間)	35～ 40	10	2	2号館 B1F
	国際政治の中心地、アメリカ合衆国の首都ワシントンD.C.に滞在し、政策シンクタンク、ジョージタウン大学などを訪問し、国際政治が実際にどのような人物、組織、政策によって動いているのか学ぶ。						
エストニア・スタディ ツアー:持続可能な社会 構築に向けた教育の可能 性	春期休暇中	エストニア	3月中旬(1週間)	20	-	2	2号館 1F
	エストニアの教育省、大学、高校、NGOなどの活動を見学し、現地の学生とディスカッションを行うことで、エストニアの教育におけるICT導入や英語教育などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。						

7 国連ユースボランティア

国連ユースボランティアは、国連ボランティア計画(UNV)と日本の大学が連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラムです。同プログラムのもとで派遣される学生は、1学期間(秋学期)、開発途上国のUNV事務所等に配属され、国連や政府機関、NGOスタッフ、そして現地の人々とともに開発支援活動に従事することによって、単位を修得することができます。

2016年度は7大学から14名の学生が派遣されました(内、本学からは1名をスリランカに派遣。)

2017年度募集締切は4月中旬(予定)。応募方法についての詳細は本学ホームページとLoyola掲示板にて確認下さい。

8 大学院生の留学について

A 交換留学プログラム

大学院生も通常の交換留学に出願できますが、それ以外にも以下の大学院生向けの交換留学プログラムがあり、出願要件は通常の交換留学に準じます。各プログラムの詳細は本学ホームページで確認するか、個別にグローバル教育センター(2号館1階)にお問い合わせください。なお、通常の交換留学に出願する場合は、学内願書受付期間の1カ月以上前に、グローバル教育センターまで問い合わせる必要があります。→P35参照

イェール大学博士後期課程2～3年次交換留学

History, Art, Anthropology, Economics, Sociology, Politics等の分野において日本に係る研究を行う博士後期課程2～3年次の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

募集時期：年2回(1月頃：8～9月出発分、6月頃：翌1月出発分)
留学期間：1学期または1年間(2学期)

フライブルク大学(ドイツ)ドクターコース交換留学

ドイツ文学、神学、哲学を専攻している博士後期課程の大学院生を対象とした、原則として2年間の留学プログラムです。

募集時期：グローバル教育センター要相談
(目安として秋学期からの留学は4月、翌春学期からの留学は10月まで)

アンジェ大学(フランス)大学院生交換留学

フランス研究に係る分野の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

募集時期：グローバル教育センター要相談
(目安として秋学期からの留学で12月頃)
留学期間：1学期または1年間(2学期)

GSC-SMS 枠交換留学

本学グローバル・スタディーズ研究科が加盟するGSコンソーシアム(Global Studies Consortium)の「Student Mobility Scheme(SMS)」による、加盟校内の博士前期課程の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

募集時期：募集時期：年2回(1月頃：秋出発分、6月頃：春出発分)
留学期間：1学期または1年間(2学期)

WUT/ ZHAW(理工学研究科対象)交換留学

理工学研究科の大学院生を対象とした交換留学プログラムです。

留学先大学：Warsaw University of Technology(WUT)
ZHAW School of Engineering
募集時期：年2回(1月頃：秋出発分、7月頃：春出発分)
留学期間：1学期または1年間(2学期)

B 私費プログラム

カリフォルニア大学バークレー校大学院への留学

出願は各自が直接行い、留学にかかる費用は自己負担となりますが、上智大学の大学院生が参加できるプログラムです。指導教員の下で研究を行うVisiting Student Researcherまたは通常の大学院科目を履修できるConcurrent Enrollmentのいずれかの身分を選ぶことができます。

募集時期等の詳細は、カリフォルニア大学バークレー校大学院のウェブサイトを確認して下さい。

留学期間：1学期または1年間

本学での在籍身分：一般留学または休学を本人が選択

9 海外大学院特別進学制度

フォーダム大学大学院

フォーダム大学大学院の下記専攻に進学を希望し、先方の入学基準を満たす者は、本学の推薦に基づき通常の審査よりもシンプルな手続によって入学が可能です。また、一部授業料の減免措置も適用されます。

進学対象大学院：Fordham University Graduate School of Arts and Sciences
対象専攻：Elections and Campaign Management(ECM)
International Political Economy and Development(IPED)
Urban Studies(URST) Public Media(PMMA)
対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生
募集時期：年1回(10～11月頃) 進学時期：翌年秋学期

コロンビア大学ティーチャーズカレッジ

ティーチャーズカレッジの志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Columbia University Teachers College
対象専攻：全てのプログラム
対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生
募集時期：年1回(10～11月頃) 進学時期：翌年秋学期

ジョージタウン大学大学院

ジョージタウン大学大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Georgetown University Graduate School of Arts and Sciences
対象専攻：Department of Government(M.A. in American Government, M.A. in Conflict Resolution, M.A. in Democracy and Governance)
McCourt School of Public Policy(Master's in Public Policy)
対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生
募集時期：年1回(10～11月頃) 進学時期：翌年秋学期



第三部 | 交換留学

part3. Sophia Exchange Program



1 交換留学出願手続等

Students of English-based Under/G programs should refer to P.57 General Information on Study Abroad.

A 募集時期

交換留学生の募集は年2回、ほぼ留学先大学の地域毎に行われます。具体的な募集時期や出願要領については、その都度Loyola掲示板および本学ホームページで通知します。通常、留学開始時期の約10カ月前に学内選考があります。下記の募集、選考時期は目安であり、変更することがあります。また、すべての協定校が毎年募集を行うわけではありません。

	地域	募集案内	願書受付	学内選考結果	留学期間(目安)
春募集	ドイツ圏・ロシア・オセアニア・韓国・南米・アフリカ	4月中旬	6月上旬	7月中旬	翌年2～3月から約4カ月または10カ月
秋募集	北米・ヨーロッパ(ドイツ圏除く)・中南米・アジア(韓国除く)	7月下旬	10月上旬	12月初旬	翌年8～9月から約4カ月または10カ月

B 出願及び留学資格

	要件	備考
1	出願するまでに32単位以上を修得しておくこと。	出願は1年次でもよいが、留学は2年次より可能。その場合は留学に出発する前の学期までに32単位以上を習得しておくこと。
2	全科目のGPAが2.8以上であること。(*注1)	総合平均点GPA(Grade Point Average)の計算方法: GPAとは各評価に与えられている評価点に各授業科目の単位数を乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で除して算出します。(4点満点) 【GPAの計算式】 $4.0 \times A$ の修得単位数 + $3.0 \times B$ の修得単位数 + $2.0 \times C$ の修得単位数 + $1.0 \times D$ の修得単位数 履修登録科目の総単位数(W,N,P,Xとして表示された科目を除く)
3	必要な外国語の要件を満たしていること。	英語圏出願者は、TOEFL iBT®のスコア提出が必須*。その他、本学Loyolaダウンロードセンター内「協定校語学要件一覧」参照。 *さらにUK出願者はIELTSのスコア提出が必須
4	学科長の承諾があること。	
5	心身ともに健康であること。(*注2)	毎年4月に本学で行われる定期健康診断(内科診察も含む)の受診が必要。 9月入学者も必ず4月に受診すること。
6	経済的保証及び保証人の承諾があること。(*注3)	留学に必要な費用について、家族とよく相談し、経済的な保証を得てから出願すること。

重要

- *注1: 交換留学学内選考合格者は、留学予定大学へ上智大学から推薦され、その後先方大学の審査により入学許可が出て初めて交換留学が可能となります。(最終的な留学可否は例年、出発の2、3カ月前に判明)
学内選考に合格しても、留学先大学の審査で入学不許可になり、交換留学ができない可能性もあります。(特にGPA3.0未満の場合、入学不許可となる場合があります)
- *注2: 学内選考合格者のうち健康面で経過観察が必要なものは「条件付合格」とし、留学出発前までの間に適宜、内科あるいは精神科医師の診察を受ける必要があります。最終的な留学の可否は出発の概ね5カ月前までに、医師の所見を参考に学長が決定します。
- *注3: 合格後、正当な理由なく辞退することは認められません。

C その他出願の留意点**(1) 学部生の留学可能年次について**

協定校ごとに、留学可能年次が定められています。3年次生以上が留学が可能な大学には、1年次生は出願できません。2年次生以上が留学可能な大学には1年次生も出願できますが、本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。

(2) 大学院生の出願について

協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や、大学院生を学部生扱いでしか受け入れないところもあります。個別のケースについてグローバル教育センターから事前に問い合わせる必要があるため、希望者は学内願書受付期間の遅くとも1カ月前までに、①留学希望大学名、②受入希望研究科・専攻、③履修希望科目などを具体的に調べた上で、グローバル教育センターまで問い合わせてください。

なお、協定校からの回答により出願が可能となった場合でも、学内選考合格後先方大学の審査で受入不可となるか、学部レベルでの受入を提案されることもあります。

(3) 留学期間と回数

留学期間は1年間(約10～12カ月)もしくは1学期(約4カ月)となります。出願・配置大学決定後の交換留学の延長・短縮はできません。交換留学から継続して留学する場合は、学事センターで「一般留学」か「休学」の手続きをしてください。1学期留学は一部の大学で可能です。学部在学中の交換留学(英語集中コースを含む)は原則として1人1回です。

ただし、下記の交換留学プログラムを組み合わせる場合は、例外として2回の交換留学が認められますが、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

- ・LAP + 交換留学プログラム
- ・SAIMSプログラム + 交換留学プログラム
- ・SAIMSプログラム + LAP

D 出願に必要な書類

- (1) 交換留学願書(本学所定用紙)
- (2) 希望大学記入シート(本学所定用紙)
- (3) 語学能力を証明する書類(ホームページ参照) *英語圏はTOEFL iBT[®]スコア提出
- (4) 本人誓約書・保証人および学科長の承諾書(本学所定用紙)
- (5) 最新の成績通知書
- (6) 最新の英文成績証明書
- (7) 本学保健センター発行の健康診断証明書

* 出願要領や必要書類については、募集時にLoyola掲示板・ダウンロードセンターでお知らせします。

E 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接
本学教員による面接を行います。
- (3) 選考判定
語学能力(英語圏はTOEFL iBT[®]スコア)、学業成績(GPA)、面接点をもとに、総合点を算出します。この「総合点」の高い順に志望先大学へ割り振ります。

F 交換留学学内選考試験合格後の手続き**合格大学への推薦**

学内選考試験に合格した者は、「交換留学候補者」として留学先大学へ推薦されます。その後、留学先大学で必要な出願書類を準備・送付し、先方での受入審査があります。下記の条件がすべて満たされた場合に、正式に留学が決定されます。

- ① 留学先大学から正式に入学許可がおりること。
- ② 学内選考試験合格後も全科目のGPA2.8以上を保つこと。
- ③ 心身ともに健康であること。(定期健康診査(内科検診を含む)に問題がないこと。)

留学前に本学へ提出する書類

「留学願」、誓約書、留学先大学での入学審査のための必要書類等については、グローバル教育センターから通知します。

宿舎申込について

通常留学先大学を通して紹介または斡旋がありますが、地域により住宅事情が異なるので、場合によっては自分で住居を探す必要があります。(ブラジル、ヨーロッパの一部等)

留学先大学への主な提出書類(大学により異なります)

- ・留学先大学所定願書、英文推薦状、英文成績証明書
- ・本人または保証人の英文預貯金残高証明書
- ・英文の健康診断書(予防接種の記録を含む)(主にアメリカ)
- ・Official TOEFL® Score(一部の大学では、学内選考合格後、ETSを通して、直接送付することが必要となります。スコアの有効期限に充分余裕のあるものが望ましい。)
- ・大学院生の場合、GRE (General Test, Subject Test) またはGMATのスコアを要求されることがあります。また、学部生より高い語学資格のスコアを要求されることがあります。

帰国後の提出物

交換留学生は、帰国後1カ月以内に「交換留学レポート」を提出することが義務づけられています。

G 交換留学時に見込まれる費用

- (1) 留学先大学に授業料を納入する必要はありません。
- (2) 留学先大学指定の保険や、授業料以外の諸経費は個人負担が必要となる場合があります。
- (3) 旅費や現地での生活費は本人負担となります。1年間留学する場合、必要経費として120～200万円程が見込まれます。この金額は、通貨の換算レート、現地での生活の仕方、休暇の過ごし方によっても大きく変わってきます。
- (4) 本学学費は通常の請求にしたがって納入ください。
- (5) 個人の希望で、学期開始前に留学先大学で開講される語学講座等に参加する場合、費用は個人負担となります。
- (6) 語学力不足により学期前あるいは学期中の語学講座参加を義務付けられた場合にも、費用負担が生じることがあります。

2 目的に合わせた交換留学プログラム**A 交換留学(英語集中コース)**

交換留学協定校で行われている語学プログラムへの1学期留学プログラムです。学費を本学に納入することにより留学先大学での授業料は免除されます。渡航費・滞在費等は参加者の負担です。対象校は以下のとおりです。

本プログラムに参加する方は、留学前および帰国後にTOEFL ITP®の受験が必須となります。(費用は自己負担)

- ①カンザス大学(The University of Kansas)／アメリカ
プログラム名: Applied English Center Program (AEC)
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ②クレイトン大学(Creighton University)／アメリカ
プログラム名: Intensive English Language Institute (IELI)
授業期間: 8月中旬～12月中旬
- ③ミシシッピ大学(The University of Mississippi)／アメリカ
プログラム名: Intensive English Program (IEP)
※2016年度の募集はありませんでした。
- ④セント・メアリーズ大学(St. Mary's, Texas)／アメリカ
プログラム名: Intensive English Program (IEP)
授業期間: 8月中旬～11月下旬
- ⑤ディーキン大学(Deakin University)／オーストラリア
プログラム名: Deakin University English Language Institute (DUELI)
授業期間: 8月下旬～翌年2月中旬(12月に休暇期間あり)

全大学共通

対象者: 本学学部正規生(留学時も学部正規生であること)

出願資格: ①留学する前年度までに32単位以上を修得済みであること

②最新の全科目のGPAが2.8以上であること

③学科長の承諾があること

④心身ともに健康であること

⑤経済的保証及び保証人の承諾があること

選考方法: 書類選考および面接

単位換算: 語学科目／一般外国語科目への換算可。学科科目への換算は、学科ごとの判断による。

申込期間: 2017年10月(予定)グローバル教育センター窓口にて受付(予定)
詳細はLoyola掲示板・ダウンロードセンターで確認してください。

※出願時にはTOEFL iBT®スコアの提出が必須です。出願時期に間に合うよう、余裕をもって準備してください。

B Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)

文部科学省の平成27年度「大学の世界展開力強化事業」に上智大学が南山大学及び上智大学短期大学部と連携して申請した構想が採択されたことにより、上智大学の学生は、このプログラムを通じて、提携大学である中南米諸国6カ国13大学のいずれかで、留学費用の援助を受けながら1学期または1年間の長期留学（交換留学）や、短期留学プログラムに参加することができます。

■LAPのメリット

- ・中南米各国を代表する有名大学で学べます
- ・留学先での取得単位を上智大学の単位に換算することができます
- ・留学前の準備と現地滞在中の生活をLAPコーディネーターが支援します
- ・長期留学は渡航費の一部、短期留学は旅行代金の一部が補助されます
- ・上智大学で学ぶ中南米諸国からの留学生と交流する様々な機会が提供されます

■長期留学

留学期間：1学期または1年間

対象者：学部生、院生

留学先：ブラジル、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、アルゼンチンの協定大学計13大学

所在国	大学名	所在国	大学名
アルゼンチン	Universidad Católica de Córdoba	コロンビア	Pontificia Universidad Javeriana
	Universidad del Salvador		Universidad de los Andes
ブラジル	Universidade de Brasília	ペルー	Pontificia Universidad Católica del Perú
	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	メキシコ	Universidad Iberoamericana Ciudad de México
	Universidade Estadual de Campinas		Universidad de Guanajuato
チリ	Pontificia Universidad Católica de Chile		Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente Instituto Tecnológico Autónomo de México

使用言語：現地語（スペイン語またはポルトガル語）または英語

授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入（留学先の学費は免除）

経費の援助：往復の渡航費の一部が補助されます

単 位：最大30単位まで換算可能

出願条件：GPA2.8以上、留学先大学が求める語学力を有していること（学内選考があります）

申込期間：春学期派遣は6月頃、秋学期派遣は10月頃を予定。プログラム説明会・募集については、Loyola掲示板や本学ホームページのLAP専用ページ（<http://www.sophia.ac.jp/jpn/global/international/lap>）にてお知らせします。

【必須履修科目】

LAPを通じて中南米諸国へ長期留学する学生は、このプログラムのために特別に設けられた次の2科目から最低1科目を、留学前もしくは留学後に履修することが必須となります。本科目には中南米諸国からLAPを通じて上智大学へ来る留学生も参加します。

※これらの科目は本学全学生に開講されています。

- ①日本・ラテンアメリカ比較演習（Japan and Latin America in Comparative Perspective）
（春学期／秋学期2単位、スペイン語またはポルトガル語での開講）
日本と中南米諸国を、文学、経済、教育などの視点から比較研究する。
- ②人の移動と共生（Migration and Co-existence）
（春学期／秋学期2単位、英語での開講）
グローバル化社会における、人の移動に伴って高まる多様性と顕在化する社会的格差・文化摩擦等の課題について、多様な視点から学ぶ。

■短期留学

対象者：学部生

経費の援助：旅行代金の一部が補助されます

単 位：2単位付与

出願条件：明確な目的意識と目標を持って、勉学に励むことができる学生（学内選考があります）

プログラム概要：

- ①ペルースタディーツアー（スペイン語力不問）

ペルーの文化や歴史に関する講義を履修するとともに、博物館や史跡訪問等のフィールドワーク、さらには現地の日系人コミュニティや小学校での教育文化交流等を行います。

出発時間・期間	使用言語	留学先(国)
2月出発・2週間	英語	Pontificia Universidad Católica del Perú(ペルー)

- ②教皇庁立ハベリアナ大学 短期研修

高度なスペイン語運用能力の習得とコロンビア文化への理解を深め、多様な文化背景をもつ学生と交流し、多文化への理解と適応力を高めます。

出発時間・期間	使用言語	留学先(国)
8月出発・4週間	スペイン語	Pontificia Universidad Javeriana(コロンビア)

■その他

LAPを通じて留学する学生は、留学後のフォローアップ研修を通じて、その体験や成果を振り返るとともに、大学や後輩たちに広く共有していくことが求められます。

C ACUCA 枠交換留学

上智大学はACUCA (Association of Christian Universities and Colleges in Asia) に加盟し、その活動の一環として行われる「Student Mobility Scheme (SMS)」を介して、交換留学生の派遣・受入れを行っています。留学先の学費免除の他、ACUCAから渡航費および滞在費の補助がもらえる可能性があります。

対象者：本学学部正規生／使用言語：英語（一部除く）／留学期間：1学期間
募集時期および出願要件：通常の交換留学に準ずる。

なお、ACUCAのプログラムには、夏期休暇中に開催される以下のプログラムもあります。

Student Camp

ACUCA加盟校より学生が集まり、約1週間の合宿形式のプログラムを通じてひとつのテーマについて英語で議論し、理解を深めます。年によって開催地が異なり、2016年度はインドネシアのパラヒャンガン・カトリック大学にて開催されました。（隔年開催）

D Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

ASEAN政府主導の国際的な留学制度であるAIMS Programによる交換留学です。留学先では、言語・文化、国際ビジネス、経済学、食料科学技術など各大学が提供する様々な分野を学ぶことができるほか、現地の言語や文化を学ぶ機会があります。

留学期間：1学期間／対象者：学部生／使用言語：英語
授業料：交換留学と同様に、留学中は上智大学のみ納入（留学先の学費は免除）
募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる。
詳細：SAIMS専用ホームページ (<http://dept.sophia.ac.jp/pj/saims>)

留学先

所在国	大学名	留学開始時期	所在地	留学可能年次
Indonesia	Bogor Agricultural University	春・秋	Bogor	2
Indonesia	Gadjah Mada University	秋	Yogyakarta	2
Thailand	Chulalongkorn University	秋	Bangkok	2
Thailand	Mahidol University	春・秋	Nakhon Pathom	2
Philippines	Ateneo de Manila University	秋	Manila	2
Philippines	De La Salle University	春・秋	Manila	2
Malaysia	The National University of Malaysia	秋	Bangi (Kuala Lumpur)	2

E 日加枠交換留学

日加戦略的留学生交流促進プログラムは、日本コンソーシアム協定大学とカナダコンソーシアム協定大学に在籍する学生を相互に交換する学生交流プログラムです。コンソーシアム形式の計画的・継続的な交流により、幅広い日加間の学生交流に資することを目的としています。

対象者：本学学部正規生
使用言語：英語
留学期間：1年間
募集時期および出願要件：日加戦略的留学生交流促進プログラム規定に準じる。

カナダ大学コンソーシアムとのプログラムにも、春期休暇中に開催される以下のプログラムがあります。

日加学術フォーラム

コンソーシアム加盟校から原則1名ずつ学生が参加し、ひとつのテーマについて英語で議論し、理解を深める約10日間の合宿形式のプログラムです。場所は、毎年カナダ・日本の持ち回りで開催します。
詳細はLoyola掲示板・ダウンロードセンターでお知らせします。

F3キャンパス枠交換留学（上智大学・西江大学・香港城市大学3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム）

上智大学・西江大学（韓国）・香港城市大学（中国）の3つの大学で、それぞれの国に関する歴史、文学、経済、政治、国際関係、文化等に関する科目を英語で学び、東アジア地域に関する理解を深めるプログラムです。上智大学からの参加学生は、交換留学により、西江大学 (School of Integrated Knowledge) と香港城市大学 (College of Liberal Arts and Social Science) へそれぞれ1学期ずつ留学します。

対象者：本学学部正規生
使用言語：英語
留学期間：計1年
募集時期：年1回（9月下旬～）、春出発・秋出発 同時募集
出願要件：通常の交換留学に準ずる。

3 交換留学協定校一覧

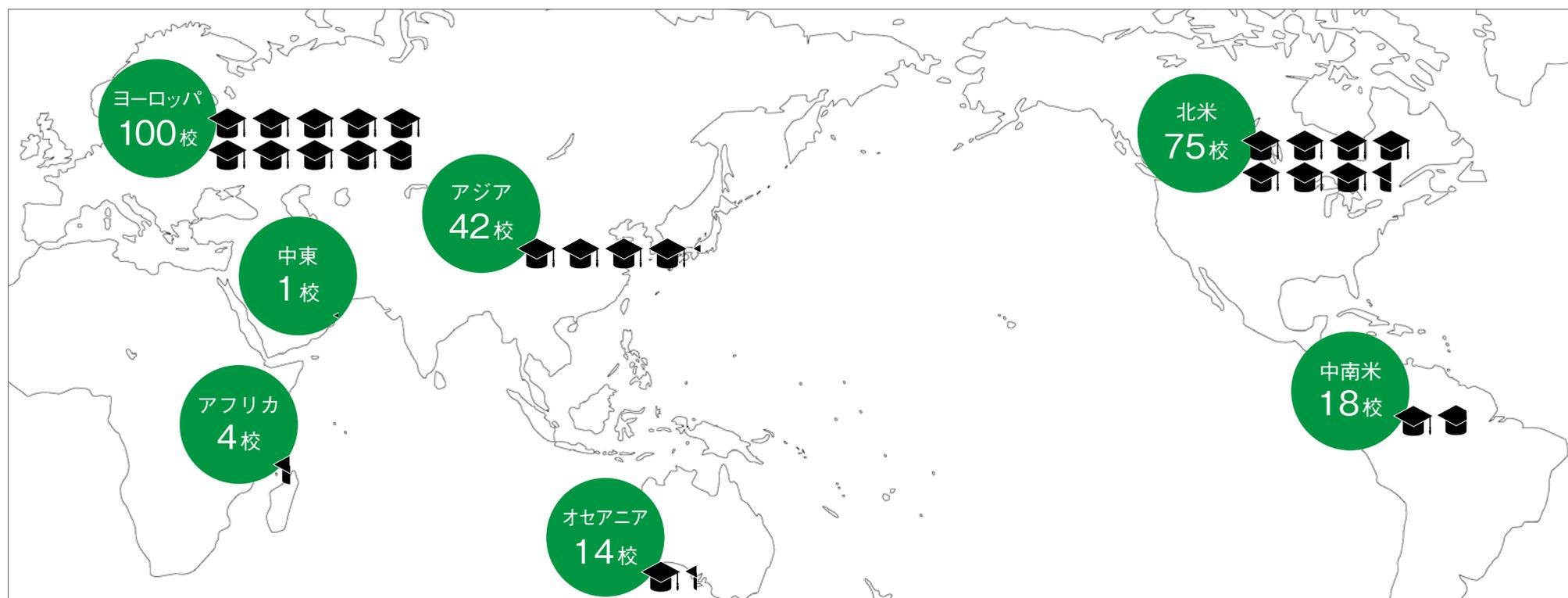
次ページから掲載されている一覧は学内選考の募集言語圏により分かれており、国順で記載されています。また、各言語圏で留学に必要とされる語学能力について記載されています。学内選考出願時に必要な各大学ごとの語学要件は、Loyolaのダウンロードセンターを参照してください。

本学ホームページ「グローバル教育・留学」>「国際交流/留学」>「長期留学(交換留学・一般留学・休学留学)」のページから各協定校のホームページにアクセスすることができます。

http://www.sophia.ac.jp/jpn/global/international/exchange/exchange_partner

2017年度出発交換留学の募集の有無は全ての大学で4月1日現在未定です。また、内容変更等については随時お知らせしますので、最新情報はLoyolaで必ず確認してください。

- 1) 出発時期
出発時期(春学期出発または秋学期出発)別に示しています。
各出発時期別の願書配布から留学開始までの学内選考の大まかなスケジュールは、P.34のA.募集時期の表を参照してください。
- 2) 留学可能年次
数字で表しています。
例:2=2年次以上 3=3年次以上 大学院生=大学院生以上
- 3) 語学要件
各大学の出願要件についてはLoyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センターの「交換留学協定校語学要件」を参照してください。



協定校数: 2017年3月1日現在

協定校一覧

英語圏

語学要件：受験日から2年以内のTOEFL iBT® (P.10参照)の公式スコアの提出が必要。UKの協定校を希望する場合は、TOEFL iBT®と併せてIELTSのスコアの提出が必須。受験後、スコアが手元に届くまでの時間も見込んで、早めに受験しておくこと。

学内選考出願時に必要なスコアは希望する協定校により異なる。また、各セクションのスコア要件を求められる場合もある。語学要件を満たすスコアとして、TOEFL ITP®およびIELTSのスコアが一部の協定校で認められている。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Australia	The University of Adelaide	Adelaide, South Australia	3
Australia	Australian Catholic University	6キャンパス有	3
Australia	La Trobe University	Melbourne, Victoria	3
Australia	Macquarie University	North Ryde, New South Wales	3
Australia	The University of Melbourne	Parkville, Victoria	3
Australia	The University of Notre Dame	Freemantle, Sydney	3
Australia	The University of Queensland	Brisbane, Queensland	3
Australia	The University of Sydney	Sydney, New South Wales	3
Australia	University of Technology, Sydney	Ultimo, New South Wale	3
Australia	The University of Western Australia	Perth, Western Australia	3
Australia	University of Wollongong	Wollongong, New South Wales	3
Fiji	The University of the South Pacific	Suva	3
New Zealand	The University of Auckland	Auckland	3
S.Korea	The Catholic University of Korea	Puchon	3
S.Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	3
S.Korea	Pusan National University	Beon-gil, Busan	3
S.Korea	Seoul National University	Seoul	3
S.Korea	Sogang University	Seoul	3
S.Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	3
S.Korea	Yonsei University	Seoul	3
South Africa	University of Stellenbosch	Stellenbosch	3

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
China	The University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	City University of Hong Kong	Hong Kong	2
China	The Chinese University of Hong Kong	Shatin, Hong Kong	2
China	The Hong Kong University of Science and Technology	Kowloon, Hong Kong	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
China	University of Macau	Macau	2
China	Beijing Foreign Studies University	Haidian District, Beijing	2
China	China Foreign Affairs University	Beijing	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Renmin University of China	Beijing	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei	2
Taiwan	National Chengchi University (NCCU)	Wenshan District, Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2
Philippines	Ateneo de Manila University	Manila	2
Philippines	De La Salle University	Manila	2
Philippines	University of the Philippines	Quezon City	2
Indonesia	Bogor Agricultural University	Bogor, West Java	2
Indonesia	Gadjah Mada University	Yogyakarta	2
Indonesia	Universitas Indonesia	Depok, West Java	
Indonesia	Petra Christian University	Surabaya	2
Malaysia	University of Malaya	Kuala Lumpur	2
Malaysia	Universiti Teknologi Malaysia	Johor Bahru, Johor	2
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia	Bangi, Selangor	2
Singapore	Singapore Management University	Singapore	2
Thailand	Chulalongkorn University	Bangkok	2
Thailand	Mahidol University	Nakhonpathom	2
Thailand	Thammasat University	Bangkok	2
Vietnam	Foreign Trade University	Hanoi	2
Belgium	Universiteit Antwerpen	Antwerpen	3
Croatia	Zagreb School of Economics and Management (ZSEM)	Zagreb, Zagreb County	2
Czech	Anglo-American University	Prague	2
Denmark	Aarhus University	Aarhus	2
Finland	Aalto University School of Business	Helsinki/Mikkeli	2
Finland	Hanken School of Economics	Helsinki	3
France/Hungary	Ecole Supérieure des Sciences Commerciales d'Angers	Angers/Budapest	3
France	Lille Catholic University	Lille	3
Hungary	University of Pécs	Pécs, Baranya County	2
Ireland	Dublin City University	Dublin	2
Italy	Università Cattaneo Castellanza LIUC	Castellanza	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Netherlands	Leiden University	Leiden	2
Netherlands	Hogeschool Rotterdam, Rotterdam Business School	Rotterdam	2
Norway	University of Oslo	Oslo	2
Poland	Warsaw University of Technology ※春学期出発もあり	Warsaw	理工学研究科生
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	3
Sweden	Uppsala University	Uppsala	2
Switzerland	The University of St. Gallen	St. Gallen	2
Switzerland	Zurich University of Applied Sciences(ZHAW)	Winterthur	理工学研究科生
Turkey	Istanbul Bilgi University	Istanbul	2
U.K.	The University of Birmingham	Edgbaston, Birmingham	2
U.K.	University of East Anglia	Norwich, Norfolk	2
U.K.	The University of Edinburgh	Edinburgh	2
U.K.	University of Hertfordshire	Hertfordshire	2
U.K.	University of Leeds	Leeds, West Yorkshire	2
U.K.	University of Newcastle upon Tyne	Newcastle upon Tyne	2
U.K.	The University of Reading	Reading, Berkshire	2
U.K.	The University of Stirling	Stirling, Scotland	2
U.K.	The University of Sheffield	Sheffield, South Yorkshire	2
U.K.	St Mary's University, London	London	2
U.K.	School of Oriental and African Studies, Univ. of London	London	2
Canada	University of Alberta	Edmonton, Alberta	2
Canada	McGill University	Montreal, Quebec	2
Canada	The University of British Columbia	Vancouver, British Columbia	2
Canada	University of Victoria	Victoria, British Columbia	2
Canada	King's University College at the University of Western Ontario	London, Ontario	2
U.S.A.	University of Arizona	Tucson, Arizona	2
U.S.A.	Arizona State University	Tempe, Arizona	2
U.S.A.	Boston College	Chestnut Hill, Massachusetts	2
U.S.A.	Canisius College	Buffalo, New York	2
U.S.A.	Clemson University	Clemson, South Carolina	2
U.S.A.	University of Colorado at Boulder	Boulder, Colorado	2
U.S.A.	University of Connecticut	Storrs, Connecticut	2
U.S.A.	California State University, Fullerton	Fullerton, California	2
U.S.A.	The Catholic University of America	Washington, D.C.	2
U.S.A.	Duquesne University	Pittsburgh, Pennsylvania	3
U.S.A.	Fairfield University	Fairfield, Connecticut	3

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
U.S.A.	Fordham University	Bronx, New York	2
U.S.A.	George Mason University	Fairfax, Virginia	2
U.S.A.	Georgetown University	Washington, D.C.	2
U.S.A.	University of Georgia	Athens, Georgia	2
U.S.A.	Gonzaga University	Spokane, Washington	2
U.S.A.	Haverford College	Haverford, Pennsylvania	3
U.S.A.	University of Hawaii at Manoa	Honolulu, Hawaii	2
U.S.A.	College of the Holy Cross	Worcester, Massachusetts	3
U.S.A.	John Carroll University	Cleveland, Ohio	2
U.S.A.	Loyola University Chicago	Chicago, Illinois	2
U.S.A.	Loyola Marymount University	Los Angeles, California	3
U.S.A.	Loyola University New Orleans	New Orleans, Louisiana	2
U.S.A.	Marquette University	Milwaukee, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Miami	Coral Gables, Florida	2
U.S.A.	University of Minnesota	Minneapolis, Minnesota	2
U.S.A.	University of Missouri-Columbia	Columbia, Missouri	2
U.S.A.	The University of Montana	Missoula, Montana	3
U.S.A.	The University of North Carolina at Chapel Hill	Chapel Hill, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Carolina at Charlotte	Charlotte, North Carolina	2
U.S.A.	North Carolina State University	Raleigh, North Carolina	2
U.S.A.	University of North Florida	Jacksonville, Florida	2
U.S.A.	Northwest Missouri State University	Maryville, Missouri	2
U.S.A.	Occidental College	Los Angeles, California	2
U.S.A.	Pace University	New York, New York	3
U.S.A.	University of Pennsylvania	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Pittsburgh	Pittsburgh, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of Portland	Portland, Oregon	2
U.S.A.	San Diego State University	San Diego, California	2
U.S.A.	University of San Francisco	San Francisco, California	2
U.S.A.	Santa Clara University	Santa Clara, California	2
U.S.A.	The University of Scranton	Scranton, Pennsylvania	2
U.S.A.	Seattle University	Seattle, Washington	2
U.S.A.	Seton Hall University	South Orange, New Jersey	2
U.S.A.	St. John's University	Queens, New York	3
U.S.A.	St. Joseph's University	Philadelphia, Pennsylvania	2
U.S.A.	Saint Mary's College of California	Moraga, California	2
U.S.A.	St. Norbert College	De Pere, Wisconsin	3
U.S.A.	University of St. Thomas	St. Paul, Minnesota	2
U.S.A.	Suffolk University	Boston, Massachusetts	2

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
U.S.A.	Tennessee Tech University	Cookeville, Tennessee	2
U.S.A.	The University of Texas at Austin	Austin, Texas	2
U.S.A.	University of Massachusetts-Amherst	Amherst, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Massachusetts Boston	Boston, Massachusetts	2
U.S.A.	University of Virginia	Charlottesville, Virginia	3
U.S.A.	Washington and Jefferson College	Washington, Pennsylvania	2
U.S.A.	University of West Florida	Pensacola, Florida	3
U.S.A.	University of West Georgia	Carrollton, Georgia	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Madison	Madison, Wisconsin	2
U.S.A.	University of Wisconsin-Whitewater	Whitewater, Wisconsin	3
U.S.A.	Wittenberg University	Springfield, Ohio	2
U.S.A.	Xavier University	Cincinnati, Ohio	3
U.S.A.	Yale University	New Haven, Connecticut	大学院生
U.S.A.	York College of Pennsylvania	York, Pennsylvania	3
秋学期英語集中コース対象校（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Australia	Deakin University	Geelong, Victoria	2
U.S.A.	Creighton University	Omaha, Nebraska	2
U.S.A.	University of Kansas	Lawrence, Kansas	2
U.S.A.	University of Mississippi	Oxford, Mississippi	2
U.S.A.	St. Mary's University, Texas	San Antonio, Texas	2

ドイツ語圏

留学に必要なとされる語学能力：

ドイツ語技能検定試験（独検）準1級（2007年度以前の独検2級）もしくはゲーティンストゥートの「ドイツ語基礎統一試験ZD（Zertifikat Deutsch）」に合格しているか、それと同程度のドイツ語能力

出願に必要な書類：

ドイツ文・ドイツ語学科の学生は証明書不要。

上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①ドイツ語技能検定試験（独検）準1級合格証明
- ②ゲーティンストゥートのドイツ語基礎統一ZD（Zertifikat Deutsch）」合格証明
- ③ドイツ語能力を示す本学常勤教員の独文推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Austria	Universität Graz	Graz	3
Germany	Universität Bayreuth	Bayreuth	3
Germany	Freie Universität Berlin	Berlin	3
Germany	Technische Universität Berlin	Berlin	3
Germany	Rheinisch Friedrich-Wilhelm Universität Bonn	Bonn	3
Germany	Hochschule Bremen: Universität of Applied Sciences	Bremen	3
Germany	Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt	Eichstätt	3
Germany	Europa-Universität Viadrina Frankfurt (Oder)	Frankfurt (Oder)	3
Germany	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	Freiburg	3
Germany	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg	Halle	3
Germany	Universität Heidelberg	Heidelberg	3
Germany	Universität zu Köln	Köln	3
Germany	Hochschule Ludwigshafen am Rhein	Ludwigshafen	3
Germany	Hochschule für Philosophie München	München	3
Germany	Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm	Nuremberg, Bavaria	3
Germany	Universität Paderborn	Paderborn	3
Germany	Universität Rostock	Rostock	3
Germany	Universität des Saarlandes	Saarbrücken	3
Germany	Universität Trier	Trier	3
Germany	Universität Tübingen	Tübingen	3
Germany	Universität Witten/Herdecke	Witten	3
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	3
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen	3

フランス語圏

留学に必要なとされる語学能力：

フランス文学科・フランス語学科の3年次程度のフランス語能力、もしくはフランス文部省認定資格試験のDELFL B1以上、もしくはTCF B1以上に合格、または仏検2級取得程度

出願に必要な書類：

フランス文・フランス語学科の学生は証明書不要。

上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①DELFL B1以上またはTCF B1以上の合格証明書
- ②仏検2級合格証明書
- ③フランス語能力を示す本学常勤教員の仏文推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Belgium	Université Catholique de Louvain	Louvain-la-Neuve	2
Canada	Université Laval	Québec	2
Canada	Université de Montréal	Montréal	2
France	Université d'Aix-Marseille	Aix-en Provence	3
France	Université d'Angers	Angers	大学院生
France	Université Catholique de l' Ouest, Angers	Angers	2
France	Université de Franche -Comté, Besançon	Besançon	2
France	Université Bordeaux Maigne	Pessac	2
France	EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury	Paris	2
France	France Business School (ESEM), Campus de Tours	Tours	2
France	Groupe ESC Dijon Bourgogne	Dijon	3
France	Institut Catholique de Paris (ICP)	Paris	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble	Grenoble	2
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris	3
France	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO)	Paris	2
France	Université Catholique de Lille	Lille	2
France	Université Lille 3	Lille	2
France	Université Catholique de Lyon	Lyon	2
France	Université Jean Moulin Lyon 3	Lyon	2
France	NEOMA Business School Rouen Campus	Mont-Saint-Aignan	2
France	Université Panthéon-Assas Paris II	Paris	3
France	Université Paris X - Nanterre	Nanterre	2
France	Université de Strasbourg	Strasbourg	2
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg	2
Switzerland	Université de Genève	Genève	3

イスパニア語圏

留学に必要なとされる語学能力：

イスパニア語学科2年次修了程度のイスパニア語能力

出願に必要な書類：

イスパニア語学科の学生は証明書不要だが、出発時までに「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得しなければならない。決定後であっても、これを満たせない場合は決定を取り消す。

イスパニア語学科の学生のうち、DELE B1以上の合格証明書を提出した者は、上記2科目の履修登録前の出発であっても出願することができる。ただし、出発時までに履修した専攻外国語科目を修得できなかった場合は決定を取り消す。

イスパニア語学科以外の学生は、次の①②のいずれか1つを出願時に提出すること。

① DELE B1以上の合格証明書

② ①に相当するイスパニア語能力を示す本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Argentina	Universidad Católica de Córdoba	Córdoba	3
Argentina	Universidad del Salvador	Buenos Aires	3
Chile	Pontificia Universidad Católica de Chile	Santiago	3
Peru	Pontificia Universidad Católica del Perú	Lima	3
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Colombia	Pontificia Universidad Javeriana	Bogotá	3
Colombia	Universidad de los Andes	Bogotá	3
Mexico	Universidad de Guadalajara	Guadalajara	3
Mexico	Universidad de Guanajuato	Guanajuato	3
Mexico	Universidad Iberoamericana	México D.F.	3
Mexico	Universidad Nacional Autónoma de México	México D.F.	3
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	Ciudad de México	3
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey, Nuevo León	3
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente	Tlaquepaque, Jalisco	3
Spain	Universitat Autònoma de Barcelona	Barcelona	3
Spain	Universidad de Burgos	Burgos	3
Spain	Universidad Pontificia Comillas	Madrid	3
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao	3
Spain	Universidad de Jaén	Jaén	3
Spain	Universidad Loyola Andalucía	Córdoba	3
Spain	Universidad Autónoma de Madrid	Madrid	3
Spain	Universidad de Salamanca	Salamanca	3
Spain	Universidad de Sevilla	Sevilla	3
Spain	Universitat de València	Valencia	3
Spain	Universidad Católica de Valencia	Valencia	3

ロシア語圏

留学に必要な語学能力：
ロシア語学科2年次修了程度

出願に必要な書類：

ロシア語学科の学生は証明書不要。

上記以外の学科の学生は、ロシア語能力を示す証明書のコピーまたはロシア語能力を示す本学常勤教員の推薦状を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Russia	Far Eastern Federal University	Vladivostok	3
Russia	Moscow State University	Moscow	3
Russia	Moscow State Linguistic University	Moscow	3
Russia	Petrozavodsk State University	Petrozavodsk	3
Russia	Saint-Petersburg State University of Culture	St. Petersburg	3
Russia	Ryazan State University	Ryazan	3
Uzbekistan	Tashkent State Institute of Oriental Studies	Tashkent	3
秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Russia	Herzen State Pedagogical University of Russia	St. Petersburg	3
Russia	Saint Petersburg State University	St. Petersburg	3

ポルトガル語圏

留学に必要な語学能力：
授業についていけるポルトガル語能力

出願に必要な書類：
不要

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Brazil	Universidade de Brasília	Brasília, FD	3
Brazil	Pontificia Universidade Católica do Rio Grande do Sul	Porto Alegre, RS	3

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月）

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Brazil	Universidade de São Paulo	São Paulo	3
Brazil	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	São Paulo	3
Brazil	Universidade Estadual de Campinas	Campinas	3

秋学期出発（学内選考の募集：前年の10月）

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
China	University of Macau	Macau	3
Portugal	Universidade de Aveiro	Aveiro	3
Portugal	Universidade de Coimbra	Coimbra	3
Portugal	Universidade de Minho	Braga	3
Portugal	Universidade do Porto	Porto	3

イタリア語圏

留学に必要な語学能力：
授業についていけるイタリア語能力

出願に必要な書類：

イタリア語能力を証明する書類、または原則としてイタリア語を母語とする本学イタリア語常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）

所在国	大学名	所在地	留学可能年次
Italy	Università di Cagliari	Cagliari	2
Italy	Università Carlo Cattaneo	Castellanza	2
Italy	L'Università degli Studi di Napoli "L'Orientale"	Napoli	3
Italy	Università di Roma "La Sapienza"	Roma	2
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia	2

韓国語圏

留学に必要な語学能力：
授業についていける韓国語能力

出願に必要な書類：

韓国語能力を証明する書類、または原則として韓国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
S.Korea	Catholic University of Korea	Puchon	3
S.Korea	Catholic University of Daegu	Gyeongbuk	3
S.Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul	3
S.Korea	College of Humanities, Pusan National University	Beon-gil, Busan	3
S.Korea	Seoul National University	Seoul	3
S.Korea	Sogang University	Seoul	3
S.Korea	Sookmyung Women's University	Seoul	3
S.Korea	Yonsei University	Seoul	3

中国語圏

留学に必要なとされる語学能力：
授業についてける中国語能力

出願に必要な書類：
中国語能力を証明する書類、または原則として中国語を母語とする本学常勤教員の推薦状

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、下記を確認すること。

Loyola>ダウンロードセンター>グローバル教育センター>「交換留学協定校語学要件」

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の10月）			
所在国	大学名	所在地	留学可能年次
China	Beijing Foreign Studies	Haidian District, Beijing	2
China	China Foreign Affairs U	Beijing	2
China	Chinese University of Hong Kong (CUHK)	Shatin, Hong Kong	2
China	Fudan University	Shanghai	2
China	Harbin Institute of Technology	Harbin	2
China	Nankai University	Tianjin	3
China	Renmin University	Beijing	2
China	Tsinghua University	Beijing	2
China	Wuhan University	Wuhan	2
China	Xiamen University	Xiamen	2
China	University of Macau	Macau	2
Taiwan	Fu Jen Catholic University	Xinzhuan Dist., New Taipei City	2
Taiwan	National Chengchi University	Wenshan District, Taipei	2
Taiwan	National Taiwan University	Taipei	2



General Information on Study Abroad



General Information on Study Abroad for students in English-based Undergraduate / Graduate Programs

Students enrolled in the programs where English is the medium of instruction, such as FLA (Faculty of Liberal Arts), FST (Faculty of Science and Technology), etc. may study abroad through the Sophia Exchange Program or the General Study Abroad Program.

Student in those programs are regarded as being enrolled at Sophia while abroad, and may study abroad for one semester or one year without taking a leave of absence. Also credits from an approved overseas institution may be transferred back to Sophia. Therefore they may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad.

【Important】

Article 40* of University Regulations: (for undergraduate students only)
Students who fail to obtain 32 credits or more including subjects specified by undergraduate departments in two consecutive academic years** shall be dismissed from the university.

*Preferential Measures

Upon deliberation by the faculty meeting and with an approval from the president, a student who is in the third-year or above, and who has taken less than 32 credits in two consecutive academic years may be exempted from expulsion by Article 40, if the total number of credits taken divided by the number of total years of enrollment is more than 16 credits. In this case, the academic year which includes the period of leave of absence is not counted in the total period of enrollment but the credits earned shall be included in the total number of credits taken.

In the case of the students of the FLA and the English Programs in FST, the total number of credits earned divided by the number of semesters of enrollment should be more than 8 credits.

**“Two consecutive academic years” refers to two academic years of enrollment. If the student takes a leave of absence, the academic year that includes the period of leave of absence will not be counted as a part of the “two consecutive academic years,” and instead, the academic years before and after the year of leave of absence will be considered as those “two consecutive years.” (For FLA and FST students, four semesters excluding the semester on leave of absence will be regarded as “two consecutive academic years.”)

NB : Students who plan to study abroad on their own and do not wish to transfer the credits from the study abroad back to Sophia may take a leave of absence from Sophia for the time they are away. But if they do so, their graduation will consequently be delayed for the length of time they are on leave of absence. Regarding payment of fees, please refer to P.60

◎ Sophia Exchange Program

【Programs Offered】

As of March 2017, 254 exchange programs are available to Sophia students. Applications for some institutions may not be accepted every year depending on the exchange balance of the incoming and outgoing students. Information sheet of each institution and other materials are available for reading on Loyola (Download Center).

【Advantages of Participation】

You can study abroad up to one year without taking a leave of absence. Therefore you may graduate from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the students in Master's Programs including the period of study abroad. Once you are selected as an exchange candidate, the Center for Global Discovery will assist application procedures for the prospective host institution.

【Credit Transfer】

For the undergraduate students, up to 30 credits obtained at the host institution can be transferred to Sophia, subject to approval by the chairperson of each student's department.

Graduate Students should inquire at the Center for Academic Affairs about credit transfer.

The transfer factor for credits basically depends on time spent in class. 675 minutes constitute one credit at Sophia. In the case of a foreign language class or seminar, 1,350 minutes are regarded as one credit. Credits should be calculated to the first decimal place.

The formula is as follows:

minutes of the class × times per week × weeks ÷ 675 (or 1,350) =
number of the credits which may be transferable to Sophia

Transferred credits may sometimes be combined together: for example, 4.5+4.2+3.2+0.9 credits may be combined together as 12 credits.

Required documents for credit transfer

The following documents should be submitted to the Center for Academic Affairs within three months after returning from overseas.

- ① Credit transfer application form and calculation form (available at the Center for Academic Affairs)
- ② Academic records (FLA only, available at the FLA office)
- ③ Documents issued by the host university
 - official transcript
 - document which shows the grading system (sometimes indicated on the official transcript)
 - course descriptions / syllabus
 - course schedule
 - academic calendar

* To transfer credits for the language courses, documents such as syllabus and textbooks are necessary to check the content of the course.

If you were placed in an appropriate level at the host institution, level of the language course taken while abroad do not need to be the same as the level of courses taken at Sophia. If you have any question, please consult with the Center for Academic Affairs.

Please note that the credit transfer procedure usually takes one month after submission, and the Completed documents must be submitted in time to be transferred for each semester.

Application period to transfer credits into Spring Semester 2017 : Feb.2 (Thu) to July 21 (Fri) ,2017
Application period to transfer credits into Autumn Semester 2017 : Jul. 24 (Mon) ,2017 to Jan.30 (Tue) , 2018

When the credit transfer is approved, you will be notified via Loyola web system. Please come to the Center for Academic Affairs to pick up the copies of the approved documents. Please note that you will not be able to make any changes on transferred credits, once approved.

◎ General Study Abroad Program

Students who plan to study abroad on their own at a degree-awarding, institution and wish to transfer the credits back to Sophia must apply in advance to the General Study Abroad Program. Students who plan to apply for general study abroad program should have finished at least 2 semesters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time they begin their general study abroad program. (For graduate students, 10 credits or more are required.)

General Study Abroad students may study abroad for one year without taking a leave of absence. Credit transfer arrangements are the same as those for the Exchange Program students. Students must apply independently for an approved institution and arrange their own accommodation. Another distinction between the Exchange Program and the General Study Abroad Program is that students must pay tuition and fees both to Sophia and the overseas institution.

◎ Tuition and Fees during Study Abroad

Exchange students will pay the tuition and fees only to Sophia*, but General Study Abroad students must pay the tuition and fees both to Sophia and to the overseas institution. Travel and living expenses should be covered by the students. The cost will greatly depend upon currency exchange rates, the student's life style and how he/she spends vacations.

Limited scholarships are available to the participants in the exchange program. Please see P.11 for details.

*If Exchange students participate in a language program of the host university before the regular courses start, they are responsible for the tuition fee for the course. This also applies to the summer session program at the host university.

★ Payment arrangements for students of the Faculty of Liberal Arts

After the credit transfer is finalized at Sophia, the bill for the tuition will be issued.

NB : Contacts for questions tuition support scholarship while study abroad, Center for Student Affairs.

The tuition and other fees for the second year in study abroad, Center for Academic Affairs (1st fl, Bldg. No.2) .

◎ All Sophia students planning to study abroad including those by leave of absence or by General Study Abroad program are required to purchase a university-designated Study abroad insurance and crisis management service for the period away from Japan. Insurance fees are the responsibility of a student, but at a discounted price. Please visit the Center for Global Discovery (1st fl, Bldg. No. 2) at least one month before departure.

◎ Sophia Exchange Program Application Procedures

[A] Application Deadlines and Selections

Application deadlines and selection dates depend on the areas where universities are located. Selection interviews are usually conducted about 10 months before the departure for study abroad.

Information on exchange partner institutions (P.47～) are subject to change without notice.

Please refer to our website for the most updated information.

[B] Eligibility and Requirements

- Grade Point Average of 2.8 or above
- Sufficient language proficiency to study abroad*
- Financial backing

- ・ Students who plan to apply for exchange program should have finished at least 2 semesters and have obtained more than 32 credits at Sophia by the time he/she begins the exchange period. (For graduate program students, 10 or more credits are required.)
- ・ Students who plan to apply for exchange program should take a Medical Check held by Sophia every year. Students may not be allowed to study abroad depending on the results of Medical check.
- * Submission of TOEFL iBT® score is compulsory for the applicants for English-speaking institutions, even for Native speakers.

[C] Notes of Importance

After internal screening at Sophia, nominated students will be screened by the host universities.

For students with the GPA below 3.0, the risk of rejection by the host universities becomes higher than those with the GPA 3.0 or above.

- (1) Number of semesters to be completed at Sophia before going on exchange
The year the students must be in at the start of the exchange period is indicated on the list of exchange partners. (Cf. P.43~) Freshmen may not apply for the universities indicated as “3”, but they can submit the application for the universities indicated as “2.”
- (2) Graduate students who wish to apply for the exchange program
Some exchange partner universities do not accept graduate students, and the office needs to make inquiries about individual case to a host university in advance. Please consult with the Center for Global Discovery at least one month prior to the internal selection application deadline.
- (3) Period of Study Abroad
Period of study abroad will be either one year(10-12 months) or one semester (4months). Students cannot change the period of exchange program after the results of the internal selection are finalized.
A separate application must be filed for “General Study Abroad” or “Leave of Absence” when a student wishes to continue to study abroad after the exchange period. One-semester study abroad is possible in some universities only.
Except in the case of participation in the LAP/SAIMS Program, and exchange program, undergraduate students may not participate in the exchange program twice.

A maxim period allowed to be included into the residence requirement in case of and exchange programs participation LAP/SAIMS is also up to one year only.

[D] Application Materials

(1) Certificate of language proof

● English-speaking institutions

A TOEFL iBT® score is required for the internal selection and IELTS score is required for UK institutions. Apart from this, each institution has the minimum language requirement.

In general, a TOEFL® score is required. Some institutions accept TOEFL ITP® score and IELTS score as well.

● German-speaking institutions

Applicants are expected to fulfill one of the following requirements

- 1) pre-level 1 of the German Diploma in Japan
- 2) ZD (Zertifikat Deutsch) of the Goethe-Institut examination (B1)
- 3) a letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in German.

● French-speaking institutions

Applicants are expected to have a certificate of DELF B1 or above, or TCF level 3, or DAPF level 2 (仏検2級).

Some institutions accept a letter of recommendation from an instructor at Sophia.

● Spanish-speaking institutions

Applicants from departments other than Dept. of Hispanic Studies should submit a certificate which indicate an equivalent level of proficiency in the Spanish language to the third grade of Dept. of Hispanic Studies.(equivalent to DELE B1) A letter of recommendation from an instructor of Spanish at Sophia is also acceptable.

● Italian-speaking institutions

Applicants should present a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Italian speaker, or transcripts or certificates which indicate a sufficient level of proficiency in the Italian language.

● Portuguese-speaking institutions

Applicants are expected to have enough ability in the Portuguese language for taking classes.

● Russian-speaking institutions

Applicants are expected to have enough ability in the Russian language for taking classes. A recommendation letter from an instructor of the Dept. of Russian Studies or a certificate of Russian language proficiency must be submitted by the applicants from other departments.

● Chinese-speaking institutions

Applicants should present a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Chinese speaker, or certificates which indicate a sufficient level of proficiency in the Chinese language.

● Korean-speaking institutions

Applicants should present a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Korean speaker, or certificates which indicate a sufficient level of proficiency in the Korean language.

- (2) Application forms for the Sophia Exchange Program
- (3) Host Institutions Preferences Sheet
- (4) Pledge, Approval from your Guarantor and the Chairperson of the Department
- (5) Most Recent Academic Record printed out from “Loyola”
- (6) Most Recent Official Academic Transcript (in English)
- (7) Health Certificate Issued by Sophia Health Center

* Information on application procedures will be announced on “Loyola” bulletin boards or download center. Please carefully read the information distributed by the Center for Global Discovery.

[E] Selections

- (1) screening by application materials
- (2) interview

The selection of the outgoing exchange students are generally conducted based upon 1) proficiency in the foreign language (TOEFL iBT® score for English-speaking institutions), 2) GPA, and 3) marks at the interview.

[F] Procedures after Internal Selection

Nomination to Exchange Partner Institution

Students who pass the Sophia selection will be nominated to a partner institution. The nomination from Sophia does not guarantee the acceptance from the host university. The host university will determine acceptance / rejection of the nominee based on its screening process.

The following conditions must be met in order to study abroad as an exchange student;

- (1) To be officially accepted by an exchange partner institution
- (2) To keep grade point average of 2.8 or above after internal selection
- (3) To maintain good health in their mental and physical condition.

Documents to be submitted

Application form for Study Abroad, Pledge, etc.

The Center for Global Discovery will inform the successful students of

necessary paperworks. Housing arrangement will be made through host institution in most cases, but, in some cases, students may need to look for a room on their own. Residential situations differ depending on regions or institutions.

Most frequently required documents by American universities: Application forms, Recommendation Letter, Transcript, Financial statement, Health form including Immunization records, Official TOEFL® Score*, etc.

*Some exchange partner institutions require the official score report to be sent through ETS after Sophia selection. It is therefore desirable that the score has enough remaining period of validity.

Some exchange partner institutions will require official scores of GRE or GMAT to graduate students after Sophia selection.

Exchange students must submit a “Report on Study Abroad” within one month after returning to Japan.

◎ Information available on Loyola

(Bulletin board and Download center of the Center for Global Discovery)

- Information on Applications for Sophia Exchange Program
- Other study abroad programs
- Scholarships for study abroad etc.
- Course catalogs of exchange partner institutions
- Reports written by former exchange students

Center for Global Discovery (1st fl, Bldg. No.2)

Office Hours 9:30 ~ 11:30, 12:30 ~ 17:00 (Mon. ~ Fri.)

Website http://www.sophia.ac.jp/jpn/global/international/exchange/exchange_haken

2017年度イベントカレンダー

	年	2017												2018			
	学期	春学期						秋学期						春学期			
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降	
交換留学 LAP	春 (2018年2月～3月出発)	願書配布開始 (HPよりダウンロード) プログラム説明会		6月5・6日 願書受付 7月 面接 合否発表 合格者ガイダンス		(定員に満たない場合は 追加募集)						渡航前 オリエン テーション	2月～3月出発				
	秋 (2018年8月～9月出発)	プログラム説明会		願書配布開始 (HPよりダウンロード)		10月5・6日 願書受付 11月 面接 12月 合否発表 合格者ガイダンス						(定員に満たない場合は追加募集)				渡航前 オリエン テーション	8～9月 出発
英語集中 コース	2018年8月 出発	願書配布開始 (HPよりダウンロード)						10月(予定) 願書受付 選考 1月 合格者ガイダンス						渡航前 オリエン テーション	8月出発		
海外短期 語学講座 海外短期研修	19～21日 夏期 プログラム 申込受付 (英語圏)	8～10日 夏期 プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション		プログラム実施		16～18日 春期 プログラム 申込受付 (英語圏)	6～8日 春期 プログラム 申込受付 (英語圏以外)	オリエンテーション		プログラム実施						
実践型 プログラム	休暇中 プログラム	夏期申込受付		オリエンテーション		プログラム実施		春期申込受付		オリエンテーション		プログラム実施					
	国連ユースボラン ティアプログラム	申込 受付	選考・派遣者決定		事前講義・研修		プログラム実施						帰国 報告会				
学内行事	留学生 宿舎案内 アルバイト 実施		15・16日 留学フェア			9月13・14日 留学生 宿舎案内 アルバイト 実施			留学生 宿舎案内 アルバイト 募集				留学生 宿舎案内 アルバイト 実施	留学生 宿舎案内 アルバイト 募集			

TOEFL® テストスコア対照表

Total Score Comparisons

Internet-based Total	Computerbased Total	Paper-based Total	Internet-based Total	Computer-based Total	Paper-based Total
120	300	677	51	147	467
120	297	673	49-50	143	463
119	293	670	48	140	460
118	290	667	47	137	457
117	287	660-663	45-46	133	450-453
116	283	657	44	130	447
114-115	280	650-653	43	127	443
113	277	647	41-42	123	437-440
111-112	273	640-643	40	120	433
110	270	637	39	117	430
109	267	630-633	38	113	423-427
106-108	263	623-627	36-37	110	420
105	260	617-620	35	107	417
103-104	257	613	34	103	410-413
101-102	253	607-610	33	100	407
100	250	600-603	32	97	400-403
98-99	247	597	30-31	93	397
96-97	243	590-593	29	90	390-393
94-95	240	587	28	87	387
92-93	237	580-583	26-27	83	380-383
90-91	233	577	25	80	377
88-89	230	570-573	24	77	370-373
86-87	227	567	23	73	363-367
84-85	223	563	22	70	357-360
83	220	557-560	21	67	353
81-82	217	553	19-20	63	347-350
79-80	213	550	18	60	340-343
77-78	210	547	17	57	333-337
76	207	540-543	16	53	330
74-75	203	537	15	50	323-327
72-73	200	533	14	47	317-320
71	197	527-530	13	43	313
69-70	193	523	12	40	310
68	190	520	11	37	310
66-67	187	517	9	33	310
65	183	513	8	30	310
64	180	507-510	7	27	310
62-63	177	503	6	23	310
61	173	500	5	20	310
59-60	170	497	4	17	310
58	167	493	3	13	310
57	163	487-490	2	10	310
56	160	483	1	7	310
54-55	157	480	0	3	310
53	153	477	0	0	310
52	150	470-473			

Note : The paper-based total score does not include writing.

The paper based and computer-based total scores do not include speaking.

出典 : "TOEFL iBT Tips"

※ TOEFL CBTは2006年9月に終了。スコア発行も2008年9月で終了。

※現在日本において予定されているTOEFL PBTはありません。



個人情報保護について

上智大学の個人情報保護への取組みについては下記URLをご参照ください。
<http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy>

Please refer to the following URL on our approach to the Personal information protection.
<http://www.sophia.ac.jp/eng/info/privacypolicy/>